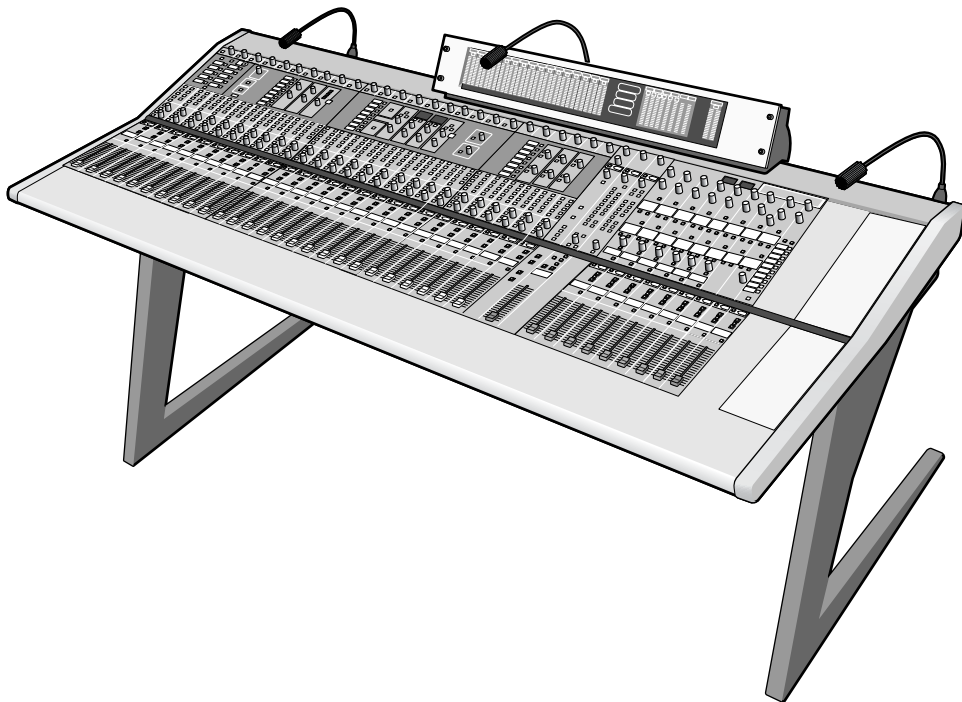


# Panasonic

## オーディオミキサー 取扱説明書 基本操作編

品番 WR-D100

# RAMSA



### 保証書別添付

- このたびは、オーディオミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なおきにお読みください。
  - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびは、**RAMSA** オーディオミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は、モーターフェーダータイプの設備用8BUSミキサーです。

### ●特性

- リニア24ビット 64倍オーバーサンプリングA/Dコンバータ
- リニア24ビット 64倍オーバーサンプリングD/Aコンバータ
- 標準ダイナミックレンジ：112 dB（XLRアウトプット）
- 周波数特性：20 Hz～20 kHz、+0.5 dB、-1.0 dB（トリム+4 dB位置）  
：20 Hz～20 kHz、+0.5 dB、-2.0 dB（トリム-60 dB位置）
- チャンネル間クロストーク：85 dB以上（20 Hz～20 kHz）
- サンプルング周波数：48 kHz

### ●主な特長

- A/Dコンバータ、D/Aコンバータ、電源部を内蔵したオールインワン・デジタルミキサー。
- 格段に少ないクロストークと信号劣化の低減により、高精細・ローノイズなデジタルならではの高音質を実現。
- アナログ入力は、モノラル20chに加え、AIRマイク（L/R）、アナウンスマイク、トークバックマイクの全24チャンネルを装備。
- ステレオ入力は、カセットデッキ、CDプレーヤー、MDプレーヤーなど増加する再生機器に十分対応できる6チャンネルを装備。
- アナログ出力は16チャンネルを装備し、マトリクスやグループBUSなどにアサインが可能。  
8グループBUS+L/R BUSと6AUX構成で、マトリクスは16チャンネルを装備。
- 5基のロットには、8チャンネルアナログ入出力カード、8CH AES/EBU入出力カードを各1枚標準装備。
- 100 mmモータードライブフェーダーを採用し、26入力フェーダー（20MONO+6STEREO）と9出力フェーダー（1L/Rフェーダー+8GRPフェーダー）で構成。
- 10パターンメモリー、10マトリクスメモリー、4ミュートグループに加え、イコライザー、ダイナミクス、AUXセンドにそれぞれ直接呼び出し可能な8つのライブラリメモリー機能を搭載。
- 多チャンネルの状態監視とプロジェクトごとのメモリー管理を容易にするリモートコントロールソフトウェアを標準で添付。

## 付属品をご確認ください

リモートコントロールソフト (CD-ROM)	1
卓カバー	1
内蔵トークバックマイク用パッチケーブル	1
取扱説明書 (本書)	1
保証書	1
注意ラベル	1

## 取扱説明書について

取扱説明書は、本書（基本操作編）と応用操作編（PDFファイル）、リモートコントロールソフト用操作ガイド（PDFファイル）の3部構成になっています。

- WR-D100の基本操作方法については本書をお読みください。構成は次のようになっています。また、本書のPDFファイルをCD-ROM内に収めています。ご活用ください。

はじめに：最初に読んでいただきたい内容を記載しています。

基本操作：アナログミキサーレベルで使用できる操作方法、音作りに重要な基本機能の使用方法、モニター機能について説明しています。

設置：別売品（オプションカード、台本置き台）の取り付けかたなどについて説明しています。

付録：リモートコントロールソフト（付属品）のインストール方法や本機の仕様、保証とアフターサービスについて説明しています。

- WR-D100の応用操作方法については、CD-ROM内に収められている取扱説明書 応用操作編（PDFファイル）をお読みください。デジタルミキサーならではの機能について説明しています。
- リモートコントロールソフトの操作方法については、CD-ROM内に収められている操作ガイド（PDFファイル）をお読みください。（ヘルプメニューから起動することができます。）

※PDFファイルをご覧いただくには、Acrobat Reader 4.0以上（日本語版）が必要です。Acrobat Readerは、アドビシステムズ株式会社のホームページ（<http://www.adobe.co.jp>）から無償でダウンロードできます。

## 登録商標について

- AdobeおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- リトライトは、リトライト社の登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

# もくじ

---

## はじめに

安全上のご注意 .....	6
取り扱い上のお願い .....	8
各部の名前と働き .....	9
コントロールパネル .....	9
●モノラルインプットモジュール .....	10
●ステレオインプットモジュール .....	12
●グループモジュール、マスターLRモジュール .....	14
●AUXマスター部 .....	15
●ユーティリティ部 .....	16
●チャンネルコントロール部 .....	23
●マトリクス部 .....	30
●トータルパターン部 .....	34
メーターブリッジ .....	35
リアパネル .....	36

## 基本操作

音を出すために .....	38
1. リアパネル端子の工場出荷状態について .....	38
2. 基本的な接続例 .....	39
3. 電源のON/OFF .....	40
4. インプットチャンネルの設定 .....	41
5. バスチャンネルの設定 .....	42
6. マトリクスチャンネルの設定 .....	43
7. マスターLRの設定 .....	44
基本機能の設定 .....	45
1. イコライザーの設定 .....	45
2. ダイナミクス設定 .....	46
3. ディレイの設定 .....	47
4. インサーションの設定 .....	47
モニター機能の設定 .....	48
1. バスモニターの設定 .....	48
2. PFL/AFLの設定 .....	49
3. エアマイクの設定 .....	50
4. トークバック／オシレータの設定 .....	51
5. アナウンスマイクの設定 .....	52

## 設置

WR-DA7とのタンデム接続例	53
1. 準備（タンデム接続に必要なもの）	53
2. 本機とWR-DA7を接続する	54
3. WR-DA7を設定する	55
4. リモートコントロールソフトを設定する	56
5. WR-DA7を使用したタンデム接続の注意事項	56
外部制御端子について	57
アナウンス制御	57
ワードクロック入出力	57
メーターブリッジ制御	58
PC制御	58
タンデム接続制御	58
パターンメモリー制御	59
オプションカード	61
オプションカードの取り付けかた	61
タンデム接続カードのスイッチ設定	62
8ch AES/EBU入出力カードのディップスイッチ設定	62
ピン配置（端子仕様）について	63
別売品について	64
卓スタンド（WR-Z100）への取り付けかた	64
台本置き台（WR-L100）の取り付けかた	64
リトライトへの注意ラベル貼り付け	65

## 付録



初期設定モードと工場出荷状態	66
初期設定モードでの起動方法	66
工場出荷状態への戻しかた	69
PARAMETER表示部 表示一覧	72
リモートコントロールソフトのインストール	74
必要システム構成（動作環境）	74
動作条件	74
インストール手順	75
リモートコントロールソフトの起動と終了	75
仕様	76
外観寸法図	78
レベルダイヤグラム	78
ブロックダイヤグラム	79
保証とアフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

### 異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

## ⚠ 注意

### 通風孔・放熱ファンをふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

### リトライト使用時は、やけどに注意



高温注意

リトライト先端は高温になります。誤って触ると、やけどの原因となります。

### 踏み台や腰掛けにしない



禁止

けがの原因となります。

# 取り扱い上のごお願い

## ●設置場所について

- 直射日光の当たるところや、温風吹き出し口付近は避けてください。また、湿気やほこりの多いところ、振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
- 硫黄成分は電子機器の接点不良をおこす原因となります。大気中の硫黄成分が多いところや硫黄成分を含む建材や接着剤などを使用した場所での使用は避けてください。やむをえず設置する際は、定期的なメンテナンスをおすすめします。

## ●急に異常が生じたときは

すぐに電源スイッチをOFFにして電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

## ●背面電源スイッチについて

電源スイッチをOFFにしても電源からは遮断されません。電源を遮断する場合はAVコンセントから電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## ●電源スイッチをON/OFFするとき

アンプの電源を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

## ●フェーダー、チャンネルスイッチを入れたまま、コネクタの抜き差しをしない

クリックノイズが発生し、スピーカーの破損が生じる場合があります。抜き差しは、必ずフェーダー、チャンネルスイッチまたはアンプを切ってから行ってください。

## ●ファンタム電源について

CDプレーヤー、エフェクト機器、アンバランスタイプのマイク使用時は、必ずファンタム電源を切ってください。故障の原因となる恐れがあります。また、外部電源使用のコンデンサマイクの抜き差しは、フェーダー、チャンネルスイッチ、ファンタム電源スイッチを切り、1分以上たってから行ってください。マイク、ミキサーに破損・故障が生じる恐れがあります。

## ●ヘッドホンをご使用のときは

過大な音量で耳を痛めることのないよう、適当な音量でお聞きください。

## ●XLRタイプコネクタについて

本機で使用しているXLRタイプコネクタは、下記のように配線されています。

- 1番ピン：シールド（グラウンドまたはアース）
- 2番ピン：ホット（ハイまたはプラス）
- 3番ピン：コールド（ローまたはマイナス）

## ●内部メモリー、バックアップ用バッテリーについて

- 本機の設定内容は内部メモリーに保存されており、電源を切った状態でもバックアップ用バッテリーにより保護されています。ただし、このバッテリーには寿命があり、寿命がくるとメモリーの内容は消えてしまいます。
- 電源スイッチをONしたとき、チャンネルコントロール部に「BATT LOW」と表示されたときは、バッテリーの寿命が近づいていますので早めに交換してください。交換は販売店にご依頼ください。

## ●ご使用の際は

- トランシーバ、トランス、調光器、CRTモニターなどから出来るだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- またスイッチ、ノブ、フェーダーに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- フェーダーは、ほこりの付着などによりクロストークが劣化したり、ノイズが発生することがあります。そのようなときは販売店にご相談ください。

## ●お手入れについて

- 汚れなどのお手入れは、柔らかい布でからぶきしてください。ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本機を使用しないときは、付属の卓カバーをかけてください。綿製のカバー等を使用すると、ほこりが発生する原因となり故障する恐れがあります。

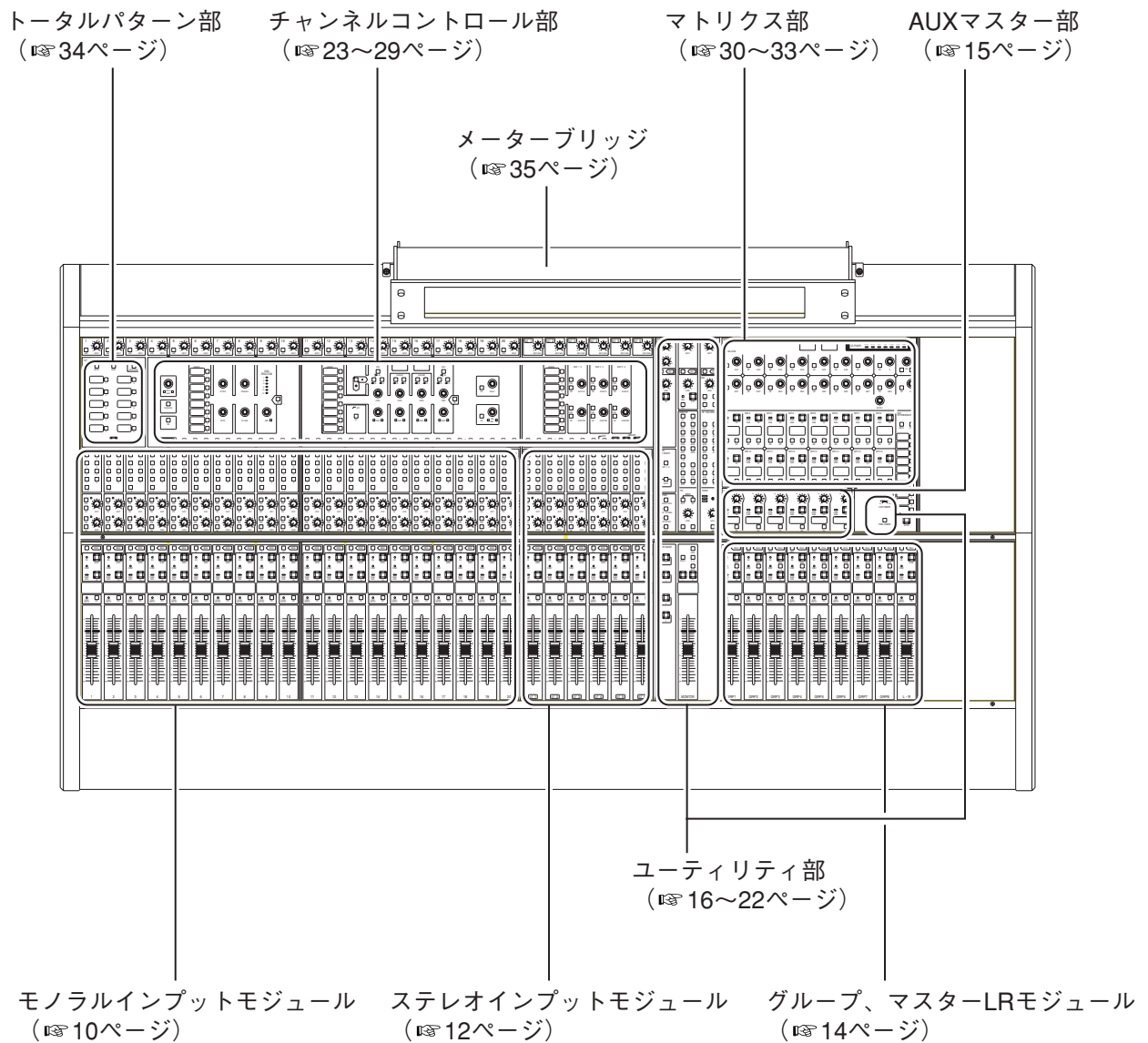
## ●使用上の注意事項

- ステレオインプットのMONOスイッチをONにすると、L/Rのステレオ入力ソースがデジタルインプットゲインで6 dB下げられます（メーターも6 dB下がります）。レベルやコンプレッサーの設定時はご注意ください。
- 同一入力信号を異なる経路でミキシングする場合、信号処理のための位相差によって音質が変わることがあります。
- 信号を入力したままでパターン切り換えを行う場合、入力側と出力側のチャンネル設定およびレベル設定の時間差で一瞬音が出てしまうことがあります。
- 信号入力状態で各種パラメータやスイッチの設定・変更を行った場合、音声データの不連続によって、ノイズとして聞こえることがあります。
- 出力端子の系統設定・変更は、パワーアンプの電源を切ってから行ってください。



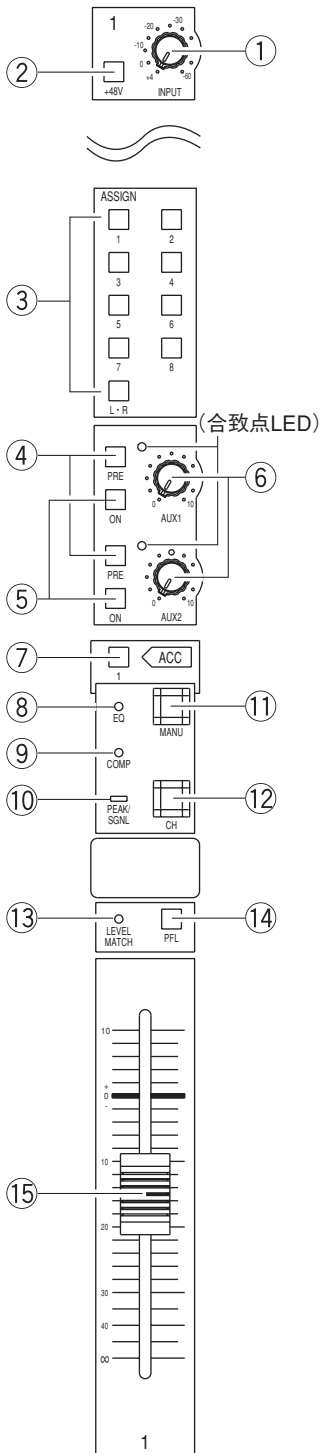
# 各部の名前と働き

## コントロールパネル



# 各部の名前と働き

## モノラルインプットモジュール



### ① アナログトリム調整ノブ

各チャンネルの入力レベルを調整します。(＋4 dBu～－60 dBu)  
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。

### ② ファンタム電源スイッチ

ON/OFFの切り換えは、スイッチを約1秒間押します。  
点灯：ON（＋48 V供給）、消灯：OFF

### ③ GRP, LRバスアサインスイッチ\*1

#### ● GRP, LR選択スイッチ押下時 (☞ 17ページ参照)

グループ1～8およびマスターL・Rミキシングバスへ信号を送出します。  
点灯：アサインON、消灯：アサインOFF

#### ● MUTE GRP選択スイッチ押下時 (☞ 17ページ参照)

ミュートグループ1～4のプリセットを行います。5～8およびL・Rは消灯します。プリセットON時、ミュートグループ部のミュートグループマスター選択スイッチがONされると、チャンネルON/OFFスイッチがOFFになります。

点滅：プリセットON、消灯：プリセットOFF

### ④ AUX送りプリ/ポストスイッチ

#### ● AUX1, 2ミキシングバスへ送出する信号を選択します。

点灯：PRE（プリフェーダー信号）、消灯：POST（ポストフェーダー信号）

#### ● このスイッチの状態は、チャンネルコントロール部にあるAUX SENDプリ/ポストスイッチと連動します。

#### ● AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANで送るときは、AUX1, 2どちらのプリ/ポストスイッチでもAUX1, AUX2両方の設定を行えます。

### ⑤ AUX送りON/OFFスイッチ

#### ● ON（点灯）にすると、プリ/ポストスイッチで選択した信号をAUX1, 2ミキシングバスへ送出します。

#### ● このスイッチの状態は、チャンネルコントロール部にあるAUX SEND ON/OFFスイッチと連動します。

#### ● AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANで送るときは、AUX1, 2どちらのON/OFFスイッチでもAUX1, AUX2両方のON/OFF設定を行えます。

### ⑥ AUX1, 2調整ノブ\*2

● AUX1, 2ミキシングバスへの送出レベルを調整します。(－∞ dB～＋10 dB)  
また、ノブ位置とAUX送出レベルの関係を合致点LEDで次のように表します。

赤点灯：ノブ位置 > AUX送出レベル

緑点灯：ノブ位置 = AUX送出レベル

消灯：ノブ位置 < AUX送出レベル

#### ● 合致点LEDが緑点灯していないときは、本調整ノブを回しても音が変わりません。合致点LEDが緑点灯するように本調整ノブを回してください。

#### ● AUX2調整ノブは、AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANで送る場合、ODD/EVEN間のPAN調整ノブになります。

## ⑦ アクセススイッチ

- ON (点灯) にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルを選択することができます。本スイッチを押しながらPFLスイッチを押すと、フェーダーが0 dBに設定されます。

## ⑧ EQ LED

イコライザーがONに設定されると点灯します。

## ⑨ COMP LED

ダイナミクスがONに設定されると緑点灯します。

## ⑩ PEAK/SGNL LED

- 入力レベルが-18 dBu以上のときに緑点灯します。
- 入力レベルが21 dBu以上のときに赤点灯します。

## ⑪ マニュアルスイッチ

ON (点灯) にすると、EQ等を含めた該当チャンネルの操作子が、パターンリードの実行およびミュートグループマスターによる制御を受け付けなくなります。

## ⑫ チャンネルON/OFFスイッチ

ON (点灯) にすると、信号を送出します。

## ⑬ LEVEL MATCH LED

フェーダー位置とパターンリード位置 (またはリモートコントロールソフトの設定による音量メモ位置) の関係をLEDで次のように表します。

赤点灯：フェーダー位置 > パターンリード位置

緑点灯：フェーダー位置 = パターンリード位置

消灯：フェーダー位置 < パターンリード位置

## ⑭ PFLスイッチ

- ON (点灯) にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをポストフェーダー信号に切り換えることができます。

⑮ フェーダー<sup>※3</sup>

チャンネルの主音量を調整します。( +10 dB ~ -90 dB、-∞ dB)

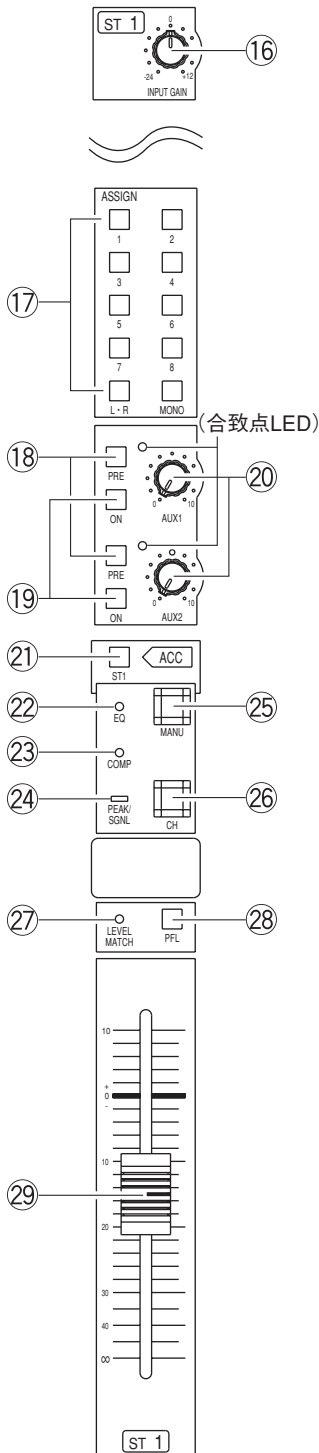
※1：スロット3, 4, 5の機能にインプットインサーションが設定されている場合、初期設定モードで起動したときには3, 4, 5スイッチがスロット3, 4, 5でインサーションするインプットチャンネルの選択に用いられます。

※2：ファンクションキーまたはリモートコントロールソフトによってフェーダー/アナログつまみのマニュアル機能がONになっているときは、パターンおよびリモートコントロールソフトからの制御は受け付けません。またレジューム対象 (電源ON時に、前回電源をOFFしたときの設定値に戻る機能) から外れます。

※3：コンソールロック時は本調整ノブを操作しても実音量とリモートコントロールソフトの表示位置は変わりません。操作した場合、コンソールロック解除時にコンソールロック設定前の位置に本調整ノブを戻すまで実音量は変更できません。コンソールロック解除時に実音量位置まで制御されます。

# 各部の名前と働き

## ステレオ入力モジュール



### ⑩ デジタル入力ゲイン調整ノブ

各チャンネルのデジタルゲインを調整します。(−24 dB〜+12 dB)

設定値は、チャンネルコントロール部の入力ゲイン調整ノブを押下することで表示できます。

### ⑪ GRP, LRバスアサインスイッチ\*1、MONOスイッチ

#### ● GRP, LR選択スイッチ押下時 (17ページ参照)

1〜8スイッチおよびL・Rスイッチは、グループ1〜8およびマスターL・Rミキシングバスへ信号を送出します。

点灯：アサインON、消灯：アサインOFF

MONOスイッチをON（点灯）にすると、LR入力をグループ1〜8およびマスターL・Rに対してミキシングして信号を送出します。

点灯：モノラルミックス状態、消灯：ステレオ状態

#### ● MUTE GRP選択スイッチ押下時 (17ページ参照)

ミュートグループ1〜4のプリセットを行います。5〜8、L・RおよびMONOは消灯します。プリセットON時、ミュートグループ部のミュートグループマスター選択スイッチがONされると、チャンネルON/OFFスイッチがOFFになります。

点滅：プリセットON、消灯：プリセットOFF

### ⑫ AUX送りプリ/ポストスイッチ

● AUX1, 2ミキシングバスへ送出する信号を選択します。

点灯：PRE（プリフェーダー信号）、消灯：POST（ポストフェーダー信号）

● このスイッチの状態は、チャンネルコントロール部にあるAUX SENDプリ/ポストスイッチと連動します。

● AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANまたはLVL-BALで送るときは、AUX1, 2どちらのプリ/ポストスイッチでもAUX1, AUX2両方の設定を行えます。

### ⑬ AUX送りON/OFFスイッチ

● ON（点灯）にすると、プリ/ポストスイッチで選択した信号をAUX1, 2ミキシングバスへ送出します。

● このスイッチの状態は、チャンネルコントロール部にあるAUX SEND ON/OFFスイッチと連動します。

● AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANまたはLVL-BALで送るときは、AUX1, 2どちらのON/OFFスイッチでもAUX1, AUX2両方のON/OFF設定を行えます。

### ⑭ AUX1, 2調整ノブ\*2

● AUX1, 2ミキシングバスへの送出レベルを調整します。(−∞ dB〜+10 dB) また、ノブ位置とAUX送出レベルの関係を合致点LEDで次のように表します。

赤点灯：ノブ位置 > AUX送出レベル

緑点灯：ノブ位置 = AUX送出レベル

消灯：ノブ位置 < AUX送出レベル

● 合致点LEDが緑点灯していないときは、本調整ノブを回しても音が変わりません。合致点LEDが緑点灯するように本調整ノブを回してください。

● AUX2調整ノブは、AUX1, 2ミキシングバスへLVL-PANまたはLVL-BALで送る場合、ODD/EVEN間のPAN調整またはBAL調整ノブになります。

## ⑳ アクセススイッチ

- ON (点灯) にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルを選択することができます。本スイッチを押しながらPFLスイッチを押すと、フェーダーが0 dBに設定されます。

## ㉑ EQ LED

イコライザーがONに設定されると点灯します。

## ㉒ COMP LED

ダイナミクスがONに設定されると緑点灯します。

## ㉓ PEAK/SGNL LED

- 入力レベルが-18 dBu以上のときに緑点灯します。
- 入力レベルが21 dBu以上のときに赤点灯します。

## ㉔ マニュアルスイッチ

ON (点灯) にすると、EQ等を含めた該当チャンネルの操作子が、パターンリードの実行およびミュートグループマスターによる制御を受け付けなくなります。

## ㉕ チャンネルON/OFFスイッチ

ON (点灯) にすると、信号を送出します。

## ㉖ LEVEL MATCH LED

フェーダー位置とパターンリード位置 (またはリモートコントロールソフトの設定による音量メモ位置) の関係をLEDで次のように表します。

赤点灯：フェーダー位置 > パターンリード位置  
 緑点灯：フェーダー位置 = パターンリード位置  
 消灯：フェーダー位置 < パターンリード位置

## ㉗ PFLスイッチ

- ON (点灯) にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをポストフェーダー信号に切り換えることができます。

㉘ フェーダー<sup>※3</sup>

チャンネルの主音量を調整します。( +10 dB ~ -90 dB、-∞ dB)

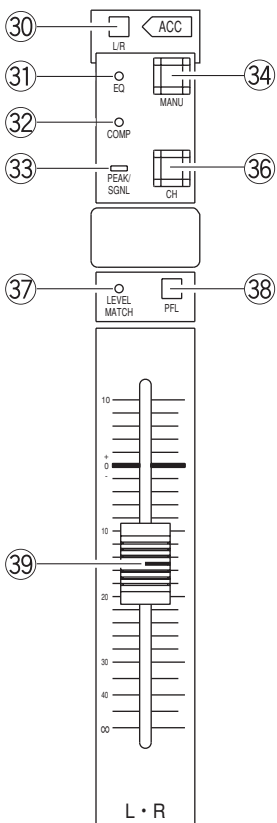
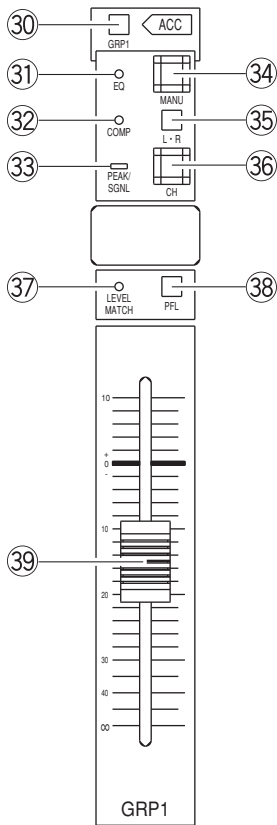
※1：スロット3, 4, 5の機能にインプットインサーションが設定されている場合、初期設定モードで起動したときには3, 4, 5スイッチがスロット3, 4, 5でインサーションするインプットチャンネルの選択に用いられます。

※2：ファンクションキーまたはリモートコントロールソフトによってフェーダー/アナログつまみのマニュアル機能がONになっているときは、パターンおよびリモートコントロールソフトからの制御は受け付けません。またレジューム対象 (電源ON時に、前回電源をOFFしたときの設定値に戻る機能) から外れます。

※3：コンソールロック時は本調整ノブを操作しても実音量とリモートコントロールソフトの表示位置は変わりません。操作した場合、コンソールロック解除時にコンソールロック設定前の位置に本調整ノブを戻すまで実音量は変更できません。コンソールロック解除時に実音量位置まで制御されます。

# 各部の名前と働き

## グループモジュール、マスターLRモジュール



### ③⑩ アクセススイッチ

- ON（点灯）にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルを選択することができます。  
本スイッチを押しながらPFLスイッチを押すと、フェーダーが0 dBに設定されます。

### ③⑪ EQ LED

イコライザーがONに設定されると点灯します。

### ③⑫ COMP LED

ダイナミクスがONに設定されると緑点灯します。

### ③⑬ PEAK/SGNL LED

- 入力レベルが-18 dBu以上のときに緑点灯します。
- 入力レベルが21 dBu以上のときに赤点灯します。

### ③⑭ マニュアルスイッチ

ON（点灯）にすると、EQ等を含めた該当チャンネルの操作子が、パターンリードの実行およびミュートグループマスターによる制御を受け付けなくなります。

### ③⑮ LRアサインスイッチ

ON（点灯）にすると、グループBUSの信号をマスターLRへ送出します。

### ③⑯ チャンネルON/OFFスイッチ

ON（点灯）にすると、信号を送出します。

### ③⑰ LEVEL MATCH LED

フェーダー位置とパターンリード位置（またはリモートコントロールソフトの設定による音量メモ位置）の関係をLEDで次のように表します。

赤点灯：フェーダー位置 > パターンリード位置

緑点灯：フェーダー位置 = パターンリード位置

消灯：フェーダー位置 < パターンリード位置

### ③⑱ PFLスイッチ

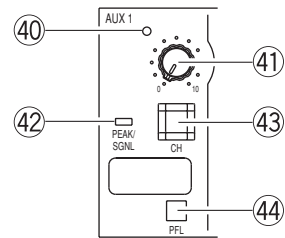
- ON（点灯）にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをポストフェーダー信号に切り換えることができます。

### ③⑲ フェーダー\*

チャンネルの主音量を調整します。（+10 dB～-90 dB、-∞ dB）

※：コンソールロック時は本調整ノブを操作しても実音量とリモートコントロールソフトの表示位置は変わりません。操作した場合、コンソールロック解除時にコンソールロック設定前の位置に本調整ノブを戻すまで実音量は変更できません。  
コンソールロック解除時に実音量位置まで制御されます。

## AUXマスター部



### ④① 合致点LED

AUXマスター出力調整ノブの位置と出力レベルの関係を次のように表します。

- 赤点灯：ノブ位置 > 出力レベル
- 緑点灯：ノブ位置 = 出力レベル
- 消灯：ノブ位置 < 出力レベル

### ④② AUXマスター出力調整ノブ\*

AUXチャンネルの出力レベルを調整します。(−∞ dB〜+10 dB)

合致点LEDが緑点灯していないときは、本調整ノブを操作しても音は変わりません。合致点LEDが緑点灯するように本調整ノブを回してください。

### ④③ PEAK/SGNL LED

- 入力レベルが−18 dBu以上のときに緑点灯します。
- 入力レベルが21 dBu以上のときに赤点灯します。

### ④④ AUXマスター出力ON/OFFスイッチ

ON（点灯）にすると、信号を送出します。

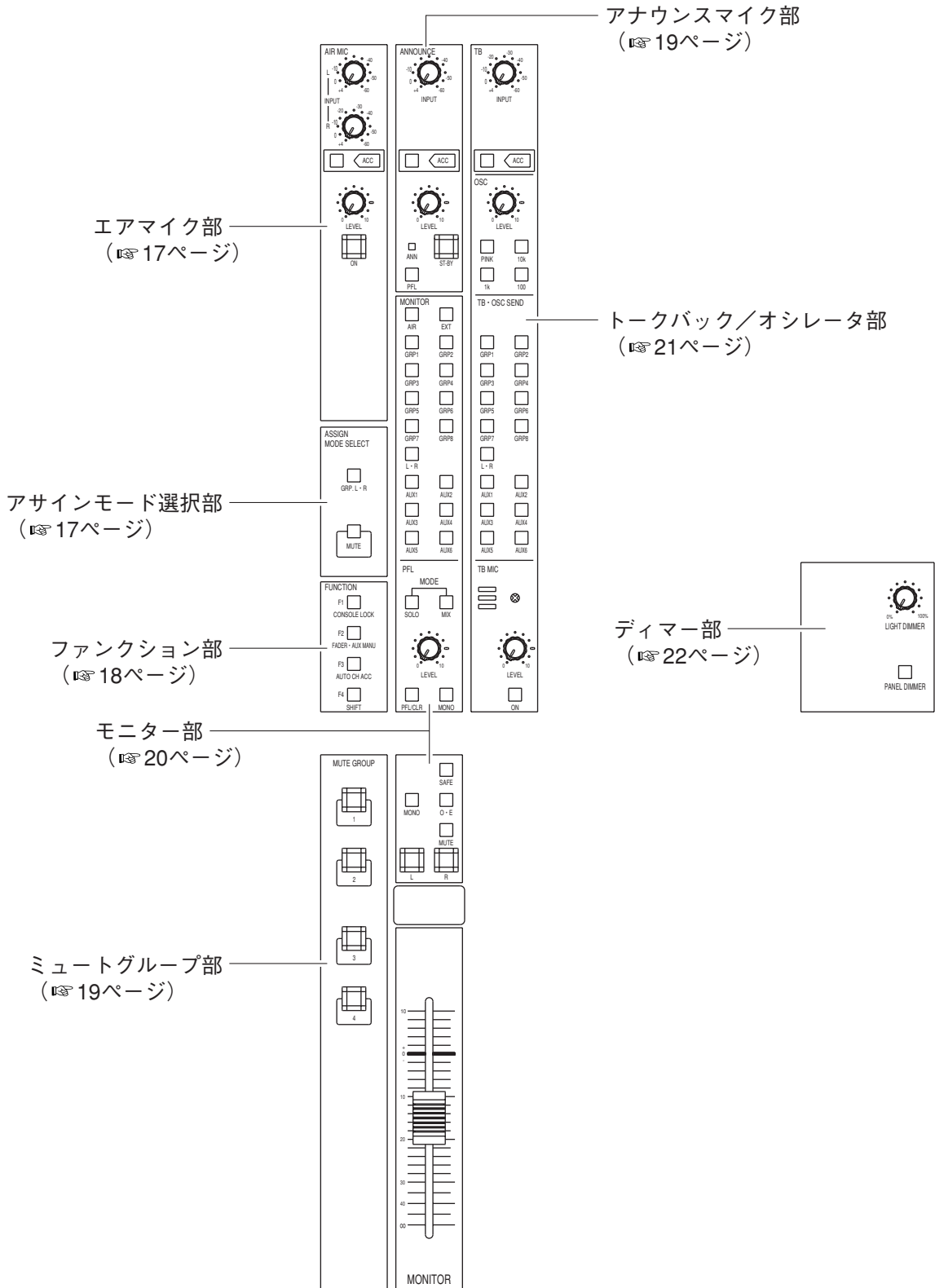
### ④⑤ PFLスイッチ

- ON（点灯）にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをポストフェーダー信号に切り換えることができます。

※：ファンクションキーまたはリモートコントロールソフトによってフェーダー／アナログつまみのマニュアル機能がONになっているときは、パターンおよびリモートコントロールソフトからの制御は受け付けません。またレギューム対象（電源ON時に、前回電源をOFFしたときの設定値に戻る機能）からも外れます。

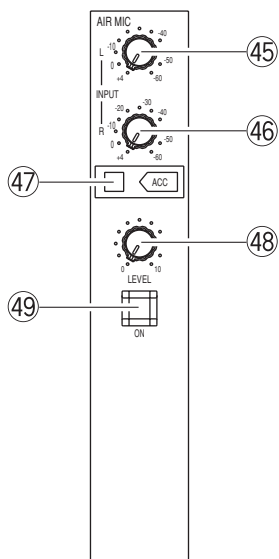
# 各部の名前と働き

## ユーティリティ部





## 1.エアマイク部

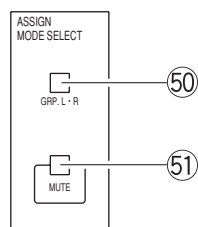


- ④⑤ **エアマイクL側入力調整ノブ**  
エアマイクL側音声の入力レベルを調整します。(＋4 dBu～－60 dBu)  
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ④⑥ **エアマイクR側入力調整ノブ**  
エアマイクR側音声の入力レベルを調整します。(＋4 dBu～－60 dBu)  
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ④⑦ **アクセススイッチ**  
ON (点灯) にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。  
リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルを選択することができます。  
本スイッチは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ④⑧ **エアマイク出力調整ノブ**  
マトリクスとモニターへの出力レベルを調整します。(－∞ dB～＋10 dB)
- ④⑨ **エアマイク出力ON/OFFスイッチ**  
ON (点灯) にすると、信号を送出します。  
初期設定モードで起動したときに本スイッチを1秒以上押すと、エアマイクのファンタム電源がON/OFFされます。

### メモ

エアマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。

## 2.アサインモード選択部

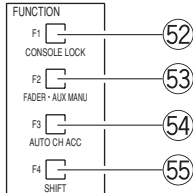


- ⑤⑩ **GRP/LR選択スイッチ**  
モノインプットモジュール、ステレオインプットモジュールのGRP, LRバスアサインスイッチをグループアサインとLRアサインスイッチとして機能させます。
- ⑤⑪ **MUTE GRP選択スイッチ**
- モノインプットモジュール、ステレオインプットモジュールのGRP, LRバスアサインスイッチをミュートグループの設定スイッチとして機能させます。
  - ミュートグループの設定で、プリセットONに設定されたインプットチャンネルでは、ミュートグループ部のミュートグループマスター選択スイッチがONされるとチャンネルON/OFFスイッチがOFFになります。

# 各部の名前と働き

## ユーティリティ部 (つづき)

### 3. ファンクション部



- ⑤② **F1 (CONSOLE LOCK) スイッチ**  
F4スイッチを押しながら本スイッチをON (点灯) にすると、コンソールロック機能が働き、ミキサー全体が操作できなくなります。
- ⑤③ **F2 (FADER・AUX MANU) スイッチ**  
ON (点灯) にすると、フェーダーおよびAUX1, 2調整ノブ、AUXマスター出力調整ノブがマニュアル状態になり、パターンやリモートコントロールソフトウェアからの制御を受け付けなくなります。
- ⑤④ **F3 (AUTO CH ACC) スイッチ**  
ON (点灯) にすると、オートチャンネルアクセス機能が働き、フェーダーや各種スイッチの操作でそのチャンネルに変化があると、チャンネルの情報がチャンネルコントロール部やリモートコントロールソフトに表示されます。
- ⑤⑤ **F4 (SHIFT) スイッチ**  
コンソールロック時に本スイッチを押しながらF1スイッチを押すと、コンソールロックがOFFになります。

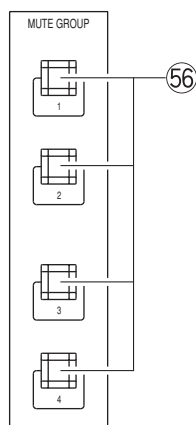
#### メモ

付属のリモートコントロールソフトを使用すると、ファンクション部の各スイッチに別機能を割り当てることができます。

上記機能は基本機能と呼ばれており、他に3種類の機能があります。これらは、リモートコントロールソフトのメニュー“オプション”→“CONSOLE”で切り換えることができます。

機能	SW	機能名称	LED	役割
PFL/AFL切換機能	F1	INPUT AFL選択	点灯	Post Fader
			点滅	Post Pan/Bal
			消灯	PFL
			F2	Group AFL選択
	F3	AUX/LR AFL選択	消灯	PFL
			点灯	AFL
			消灯	PFL
			消灯	PFL
メータブリッジ 制御機能	F1	INPUT以外 PPM/VU選択 (INPUTはPPMに固定)	点灯	VU
			消灯	PPM
			F2	ピークホールドON/OFF
	F3	ピークホールドタイム	消灯	OFF
			点灯	∞秒
			消灯	2秒
GUI機能	F1	INPUT画面切換		
	F2	BUS画面切換		
	F3	MATRIX画面切換		
	F4	マルチチャンネル画面切換		

## 4. ミュートグループ部



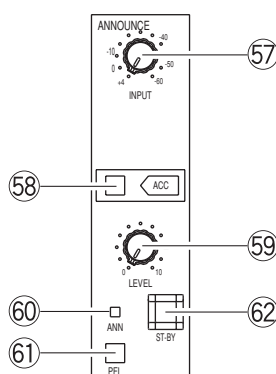
### ⑤⑥ ミュートグループマスター1, 2, 3, 4選択スイッチ

ミュートグループを選択するスイッチです。ON（点灯）にすると、ミュートグループに属する入力チャンネルのチャンネルON/OFFスイッチがOFFになります。

#### メモ

ミュートグループマスターがONになっていても、ミュートグループに属するチャンネルのON/OFF操作は可能です。またミュートグループのアサインを変えることも可能です。

## 5. アナウンスマイク部 (ANN)



### ⑤⑦ ANNマイク入力調整ノブ

アナウンスマイクの入力レベルを調整します。（+4 dBu～-60 dBu）  
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。

### ⑤⑧ アクセスイッチ

ON（点灯）にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。  
リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルを選択することができます。

### ⑤⑨ ANNマイク出力調整ノブ

アナウンスマイクの出力レベルを調整します。（-∞ dB～+10 dB）  
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。

### ⑥⑩ ANNマイクLED

アナウンス制御用端子に接続したカフボックスのカフを上げると点灯します。

### ⑥⑪ PFLスイッチ

- ON（点灯）にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをポストフェーダー信号に切り換えることができます。

### ⑥⑫ ANNマイクスタンバイスイッチ

アナウンスマイク出力のON（点灯）/OFF（消灯）を切り換えます。  
初期設定モードで起動したときに本スイッチを1秒以上押すと、アナウンスマイクのファンタム電源がON/OFFされます。

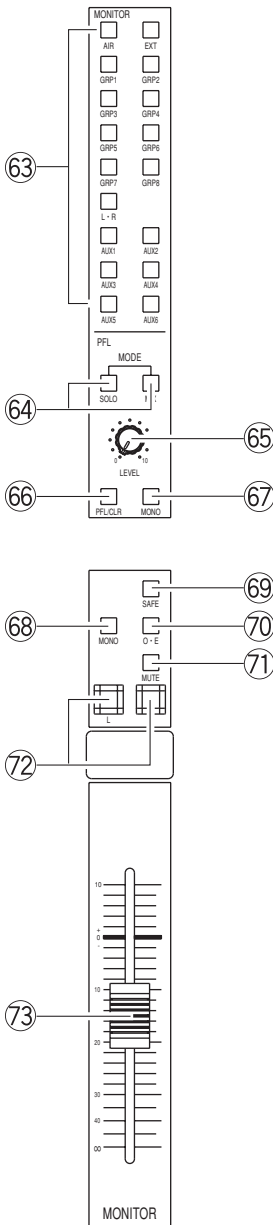
#### メモ

アナウンスマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。

# 各部の名前と働き

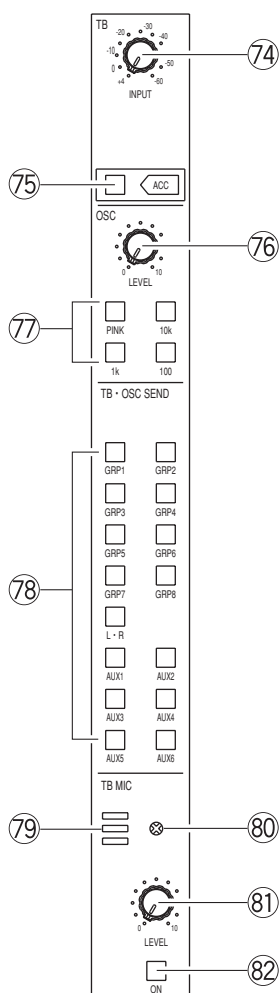
## ユーティリティ部 (つづき)

### 6. モニター部



- ⑥3 **モニターソース選択スイッチ**  
モニターに出力するソースを選択します。選択したソースは点灯します。
- ⑥4 **PFLモード選択スイッチ**  
PFLモード (SOLO、MIX) を選択します。SOLO、MIXを切り換えると、選択されていた各チャンネルのPFL、AFL SWはOFFになります。  
SOLO : 単一チャンネルのPFL (AFL) が選択できます。  
MIX : 同時に複数チャンネルのPFL (AFL) が選択できます。
- ⑥5 **PFL出力レベル調整ノブ**  
PFLの出力レベルを調整します。(−∞ dB〜+10 dB)
- ⑥6 **PFL/CLRスイッチ**  
いずれかのチャンネルのPFLスイッチがONになっていると点灯します。点灯時に本スイッチを押すと、すべてのPFLスイッチがOFFになります。
- ⑥7 **PFL MONOスイッチ**  
ON (点灯) にすると、PFL出力をモノラルミキシングして出力します。本設定によらず、モニターには常にステレオ状態でPFL信号が入力されます。  
点灯 : PFLモノラルミックス状態、消灯 : PFLステレオ状態
- ⑥8 **モニターMONOスイッチ**  
ON (点灯) にすると、選択されたソースをモノラルミキシングして出力します。  
点灯 : モニターモノラルミックス状態、消灯 : ステレオ状態
- ⑥9 **PFL SAFEスイッチ**  
ON (点灯) にすると、PFLが選択されていてもモニタースピーカー出力からPFLではなく、モニターソース選択スイッチで選択されているチャンネルが出力されます。
- ⑦0 **モニターODD/EVENスイッチ**  
GRP、AUXをステレオでモニターするときにON (点灯) します。また、GRP、AUX、MATRIXのPFL/AFLがステレオになります。  
(奇数バスはLに、偶数バスはRに出力)  
点灯 : GRP、AUX、(MATRIX) ステレオ状態  
消灯 : GRP、AUX、(MATRIX) モノラル状態
- ⑦1 **モニターMUTEスイッチ**  
モニター出力をミュート (−20 dB減衰 : 工場出荷状態) します。  
点灯 : ミュート状態、消灯 : 通常状態
- ⑦2 **モニター出力 (L, R) ON/OFFスイッチ**  
モニターソース選択スイッチで選択されたソースのL側出力およびR側出力ON/OFFを切り換えます。  
点灯 : ON、消灯 : OFF
- ⑦3 **モニターフェーダー**  
モニターの出力レベルを調整します。( +10 dB〜−90 dB、−∞ dB)

## 7. トークバック／オシレータ部 (TB/OSC)



- ⑦④ **TBマイク入力調整ノブ**  
 トークバックマイクの入力レベルを調整します。(＋4 dBu～－60 dBu)  
 内蔵マイク使用時は、絞りきり(＋4 dBu)の状態からレベルを上げて調整してください。本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ⑦⑤ **アクセススイッチ**  
 ON(点灯)にすると、チャンネルコントロール部にトークバックチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。リモートコントロールソフトを使用しているときは、画面上に同じチャンネルが選択されます。
- ⑦⑥ **OSC出力調整ノブ**  
 オシレータの出力レベルを調整します。(－∞ dB～＋10 dB)  
 本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ⑦⑦ **OSC周波数選択スイッチ**  
 PINK、10k、1k、100からオシレータ出力を選択します。ON(点灯)にすると、TB/OSC出力バス選択スイッチで選択したバスに出力されます。点灯しているスイッチを押すと、出力されなくなります。トークバックがONのときは選択できません。
- ⑦⑧ **TB/OSC出力バス選択スイッチ**  
 トークバックとオシレータ共通の出力先を選択します。(個々の設定はできません。)
- ⑦⑨ **内蔵TBマイク**  
 トークバック用の内蔵マイクです。使用するときは、リアパネルのTB OUTPUTからTB INPUTへ付属のパッチケーブルを接続します。
- ⑧① **内蔵TBマイク出力調整トリム**  
 内蔵TBマイクの出力レベルを調整します。調整用のドライバー等をご使用ください。本調整トリムは、コンソールロック状態でも操作可能です。
- ⑧② **TB出力調整ノブ**  
 トークバックの出力レベルを調整します。(－∞ dB～＋10 dB)
- ⑧③ **TB ON/OFFスイッチ**
- 本スイッチを押している間はトークバックがON(点灯)になり、離すとOFFになります。
  - ダブルクリック(2度押し)するとONがホールドされ、離してもOFFになりません。この場合、もう一度押しとOFFになります。
  - OSCを出力しているときはONできません。
  - TBがONのときは、モニターにミュート(－20 dB減衰)がかかります。
  - 初期設定モードで起動したときに本スイッチを1秒以上押しと、アナウンスマイクのファンタム電源がON/OFFされます。

## メモ

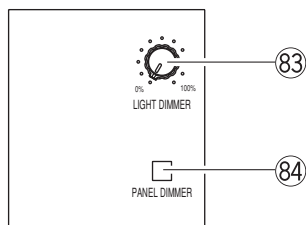
トークバックマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。

## 各部の名前と働き

---

### ユーティリティ部 (つづき)

#### 8.ディマー部



⑧③ リトライト・ディマー調整ノブ

リトライト接続時、明るさを調整します。

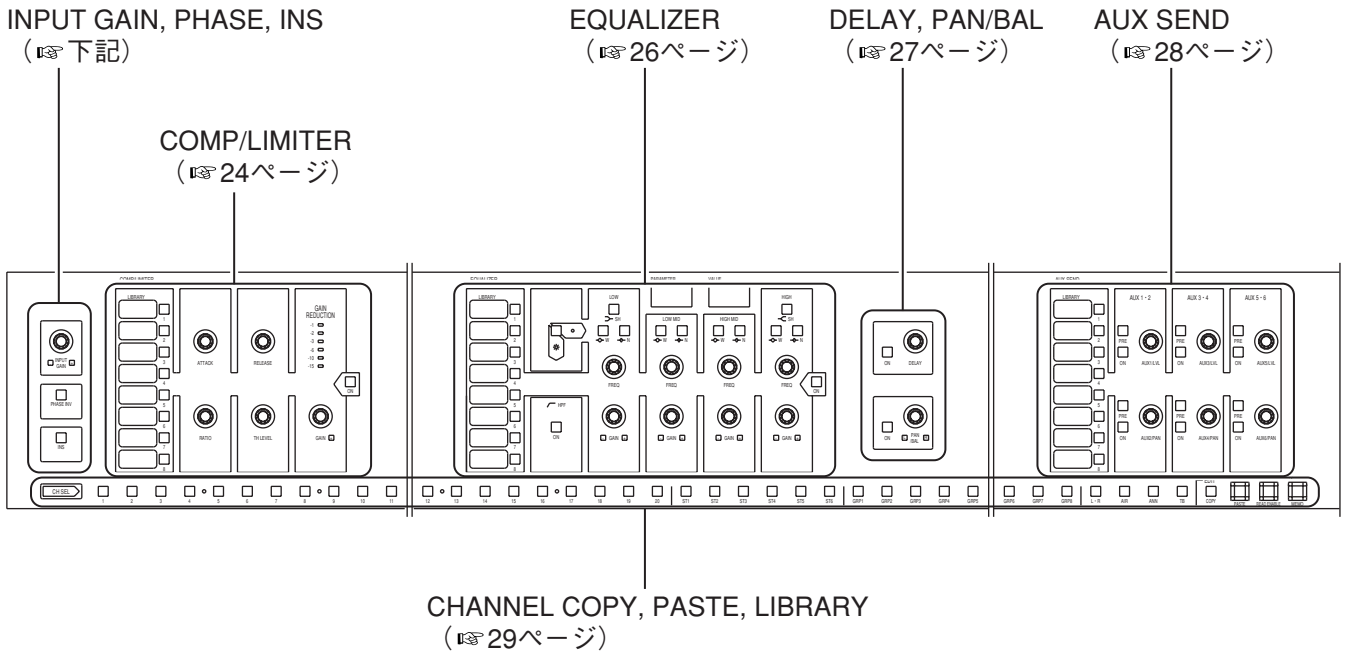
本調整ノブは、コンソールロック状態でも操作可能です。

⑧④ パネル面ディマースイッチ

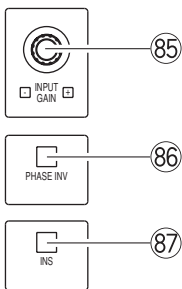
ON (点灯) にすると、パネル面LEDの明るさを暗くすることができます。

点灯：暗い、消灯：明るい

## チャンネルコントロール部



### 1.INPUT GAIN, PHASE, INS

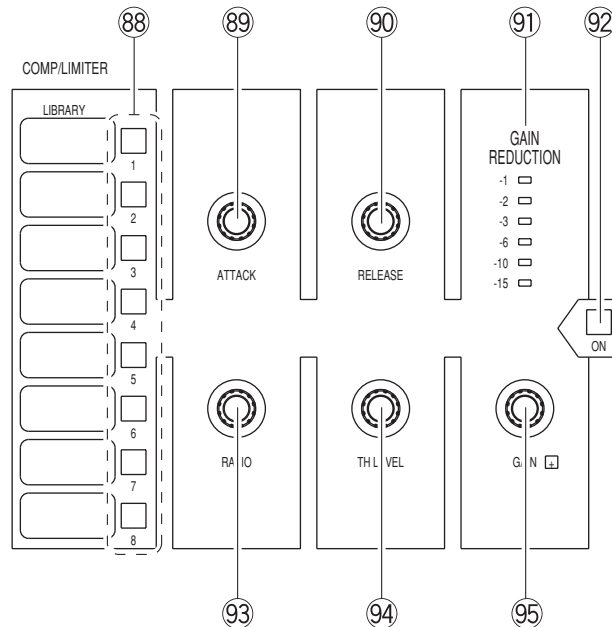


- ⑧5 インputゲin調整ノブ**  
 アクセススイッチにより選択されたチャンネルのインputゲinを調整します。インputゲin値が0 dBより小さいときは“－（マイナス）LED”が点灯し、0 dBより大きいときは“＋（プラス）LED”が点灯します。（モノラルインputモジュール、トークバック部、アナウンスマイク部、エアマイク部のみ）
- ⑧6 PHASEスイッチ**  
 アクセススイッチにより選択されたチャンネルの位相を反転します。（モノラルインputモジュール、ステレオインputモジュール、トークバック部、アナウンスマイク部、エアマイク部のみ）  
 点灯：逆相（INVERSE）、消灯：正相（NORMAL）
- ⑧7 INSスイッチ**  
 アクセススイッチにより選択されたチャンネルがインサーションを使用できるときに、インサーションのON/OFFを設定します。（モノラルインputモジュール、ステレオインputモジュール、グループモジュール、マスターLRモジュールのみ）  
 点灯：インサーションON、消灯：インサーションOFF

# 各部の名前と働き

## チャンネルコントロール部 (つづき)

### 2.COMP/LIMITER



- ⑧⑧ **ダイナミクスライブラリ選択スイッチ**  
ダイナミクスライブラリの読み込み、書き込みに使用します。各スイッチ（1～8）の左側には、ライブラリ名称を記入するために利用するネームプレートがあります。
- ⑧⑨ **アタックタイム調整ノブ**
  - 該当チャンネルのアタックタイムを調整します。（0 ms～200 ms）  
右に回すと1 msずつ増加し、左に回すと1 msずつ減少します。
  - 本調整ノブは基本的にCOMPのアタックタイムを調整しますが、リモートコントロールソフトにてEXPANDERに切り換えられた場合は、EXPANDERのアタックタイム調整ノブとして機能します。
- ⑧⑩ **リリースタイム調整ノブ**
  - 該当チャンネルのリリースタイムを調整します。（5 ms～2000 ms）  
右に回すと5 msずつ増加し、左に回すと5 msずつ減少します。
  - 本調整ノブは基本的にCOMPのリリースタイムを調整しますが、リモートコントロールソフトにてEXPANDERに切り換えられた場合は、EXPANDERのリリースタイム調整ノブとして機能します。
- ⑧⑪ **ゲインリダクションメーター**  
該当チャンネルのゲインリダクション値を表示します。ただし、該当チャンネルのダイナミクスがOFFまたはEXPANDERに設定されている場合は動作しません。  
ステレオチャンネルは、L/Rチャンネルの内、リダクション量の多い方が表示されます。
- ⑧⑫ **ダイナミクスON/OFFスイッチ**  
ON（点灯）にすると、該当チャンネルのダイナミクスが機能します。



**⑨③ レシオ調整ノブ**

- 該当チャンネルのレシオを調整します。
- 本調整ノブは基本的にCOMPのレシオを調整しますが、リモートコントロールソフトにてEXPANDERに切り換えられた場合は、EXPANDERのレシオ調整ノブとして機能します。

**⑨④ スレッシュヨルド調整ノブ**

- 該当チャンネルのスレッシュヨルドを調整します。(＋24 dB～－16 dB)  
右に回すと1 dBずつ減少し、左に回すと1 dBずつ増加します。
- 本調整ノブは基本的にCOMPのスレッシュヨルドを調整しますが、リモートコントロールソフトにてEXPANDERに切り換えられた場合は、EXPANDERのスレッシュヨルド調整ノブとして機能します。

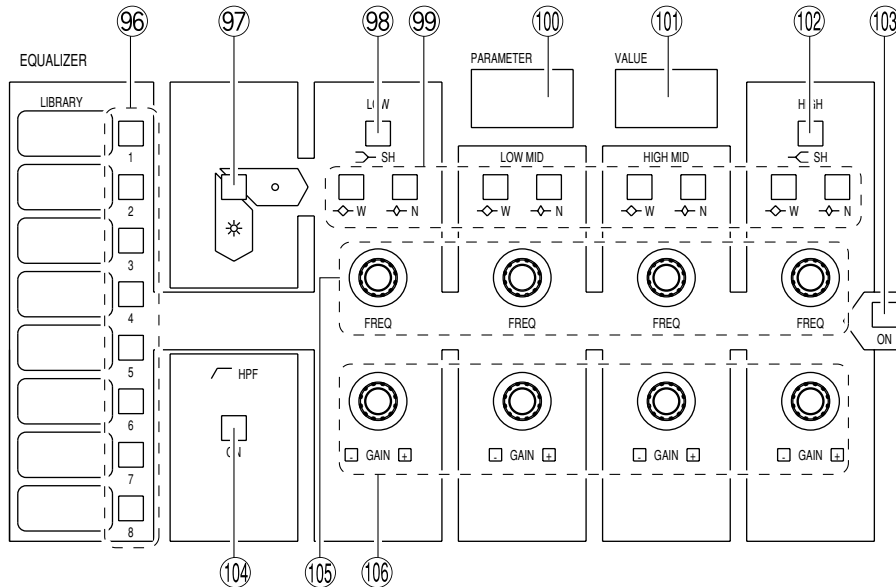
**⑨⑤ ゲイン調整ノブ**

- 該当チャンネルのゲインを調整します。(0 dB～＋12 dB)  
右に回すと0.5 dBずつ増加し、左に回すと0.5 dBずつ減少します。
- 本調整ノブは基本的にCOMPのゲインを調整しますが、リモートコントロールソフトにてEXPANDERに切り換えられた場合は、EXPANDERのレンジ調整ノブとして機能します。

# 各部の名前と働き

## チャンネルコントロール部 (つづき)

### 3.EQUALIZER



- ⑨⑥ EQライブラリ選択スイッチ  
EQライブラリの読み込み、書き込みに使用します。各スイッチ（1～8）の左側には、ライブラリ名称を記入するために利用するネームプレートがあります。
- ⑨⑦ LOWバンドフィルター選択スイッチ  
フィルタータイプ（HPF / PEQ）を選択するスイッチです。点灯時（HPF）は、LOWバンドの周波数調整ノブでHPFの周波数を調整できます。（この場合、LOWバンドシェルピングスイッチ、Q選択スイッチ、ゲイン調整ノブは機能しません。）  
点灯：HPF、消灯：PEQ
- ⑨⑧ LOWバンドシェルピングスイッチ  
フィルタータイプがPEQのとき、本スイッチをON（点灯）にすると、LOWバンドをシェルピングに設定します。フィルタータイプがHPFのときは機能しません。  
点灯：SHL、消灯：PKG
- ⑨⑨ Q選択スイッチ  
シェルピングスイッチがPKGに設定されているとき、該当バンドのQを設定します。  
工場出荷時の設定は次のとおりです。  
W（Wide）：Q=0.7、N（Narrow）：Q=3.2
- ⑩⑩ PARAMETER表示部  
アクセススイッチにより選択されているチャンネルのパラメータや、チャンネルコントロール部にある調整ノブの操作したパラメータを表示します。
- ⑩⑪ VALUE表示部  
PARAMETER表示部に表示されているパラメータの値を表示します。  
選択されているチャンネルにないパラメータの場合は“———”が表示されます。

#### メモ

チャンネルコントロール部の各調整ノブを押下すると、該当するパラメータの設定値を変更することなく、PARAMETER表示部、VALUE表示部に現在の設定値を表示できます。

## ⑩② HIGHバンドシェルビングスイッチ

本スイッチをON（点灯）にすると、HIGHバンドをシェルビングに設定します。

点灯：SHH、消灯：PKG

## ⑩③ EQ ON/OFFスイッチ

ON（点灯）にすると、該当チャンネルのイコライザーが機能します。

## ⑩④ HPF ON/OFFスイッチ

HPFのON/OFFを切り換えます。HPFを使用するときは、EQ ON/OFFスイッチをONにしてください。

点灯：ON、消灯：OFF

## ⑩⑤ 周波数調整ノブ

該当バンド（LOW, LOW MID, HIGH MID HIGH）の周波数を調整します。調整する周波数の範囲は次のとおりです。

LOW PKG時	: 20 Hz～20 kHz
LOW SHL, HPF時	: 20 Hz～1.6 kHz
LOW MID	: 20 Hz～20 kHz
HIGH MID	: 500 Hz～20 kHz
HIGH PKG時	: 500 Hz～20 kHz
HIGH SHH時	: 1 kHz～20 kHz

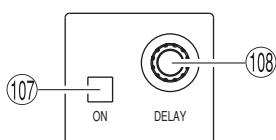
## ⑩⑥ ゲイン調整ノブ

該当バンド（LOW, LOW MID, HIGH MID, HIGH）のゲインを調整します。（-15 dB～+15 dB）

右に回すと0.5 dBずつ増加し、左に回すと0.5 dBずつ減少します。ゲイン値が正のときは“+（プラス）

LED”が点灯し、負のときは“-（マイナス）LED”が点灯します。（0 dB時は+・-LEDともに消灯）

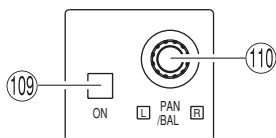
## 4.DELAY, PAN/BAL



## ⑩⑦ ディレイタイム調整ノブ

該当チャンネルのディレイタイムを調整します。（0 ms～300 ms）

右に回すと0.1 msずつ増加し、左に回すと0.1 msずつ減少します。また、押しながら右に回すと1 msずつ増加し、押しながら左に回すと1 msずつ減少します。ディレイON/OFFスイッチがOFFでも操作できます。



## ⑩⑧ ディレイON/OFFスイッチ

ON（点灯）にすると、該当チャンネルのディレイ効果が機能します。

## ⑩⑨ パン／バランスON/OFFスイッチ

●ON（点灯）にすると、該当インプットチャンネルのGRPバスに対するパン効果（ステレオチャンネルのときはバランス効果）が機能します。

●グループ、マスターLRは消灯のままです。

## ⑩⑩ パン／バランス調整ノブ

●該当チャンネルのパンレベル（ステレオチャンネルのときはバランスレベル）を調整します（L16～C～R16）。パン／バランスがL側にあるときは“L”LEDが点灯し、R側にあるときは“R”LEDが点灯します。C（センター）にあるときはどちらのLEDも消灯します。

●グループは、L/L+R/Rのスイッチャーとなり、L+Rは6 dB上がります。

●パン／バランスON/OFFスイッチがOFFでも操作できます。

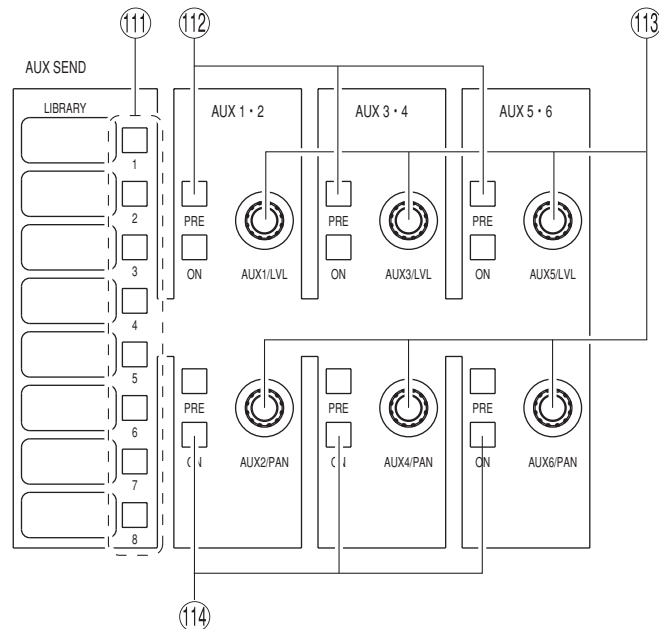
## メモ

ディレイタイムの変更、ディレイのON/OFF時は、音声信号が不連続となるためノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。

# 各部の名前と働き

## チャンネルコントロール部 (つづき)

### 5.AUX SEND



①① **AUX SENDライブラリ選択スイッチ**

AUX SENDライブラリの読み込み、書き込みに使用します。各スイッチ（1～8）の左側には、ライブラリ名称を記入するために利用するネームプレートがあります。

①② **AUX SENDプリ／ポストスイッチ**

AUX SENDポイントを設定します。

点灯：PRE（プリフェーダー信号）、消灯：POST（ポストフェーダー信号）

①③ **AUX SENDレベル調整ノブ**

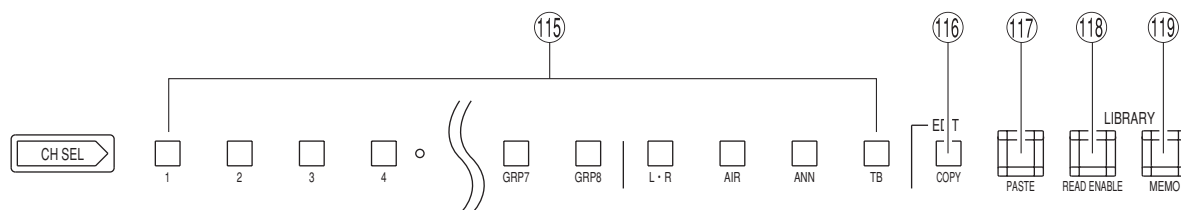
インプットからAUXバスへの送りレベルを調整します。（ $-\infty$  dB～+10 dB）

AUX2, 4, 6の調整ノブは、LVL-PANまたはLVL-BAL時に、PAN調整またはBAL調整ノブになります。

①④ **AUX SEND ON/OFFスイッチ**

ON（点灯）にすると、該当チャンネルのAUX SEND効果が機能します。

## 6.CHANNEL COPY, PASTE, LIBRARY



### ①①⑤ チャンネル選択スイッチ

ON（点灯）にすると、チャンネルコントロール部に選択したチャンネルの情報が表示され、現在の状態確認と設定の変更・更新が可能となります。

本スイッチは、各チャンネルのアクセススイッチに連動しています。

### ①①⑥ チャンネルコピースイッチ

チャンネルコントロール部に表示されているチャンネルの設定内容を内部メモリーにコピーします。

### ①①⑦ チャンネルペーストスイッチ

チャンネルコントロール部に表示されているチャンネルに、内部メモリーにコピーされている設定内容をペーストします。

### ①①⑧ ライブラリREAD ENABLEスイッチ

- ダイナミクス、EQ、AUX SENDライブラリを呼び出すときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にし、ライブラリ選択スイッチを押すと、アクセスしているチャンネルにライブラリが呼び出されます。本スイッチを再度押すまで点滅状態が継続されますので、連続してライブラリを呼び出すこともできます。

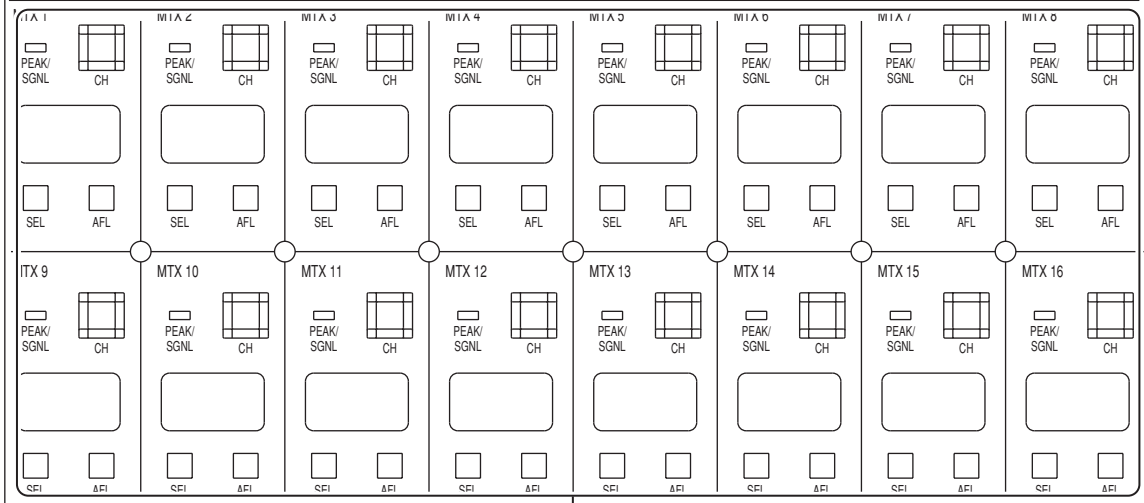
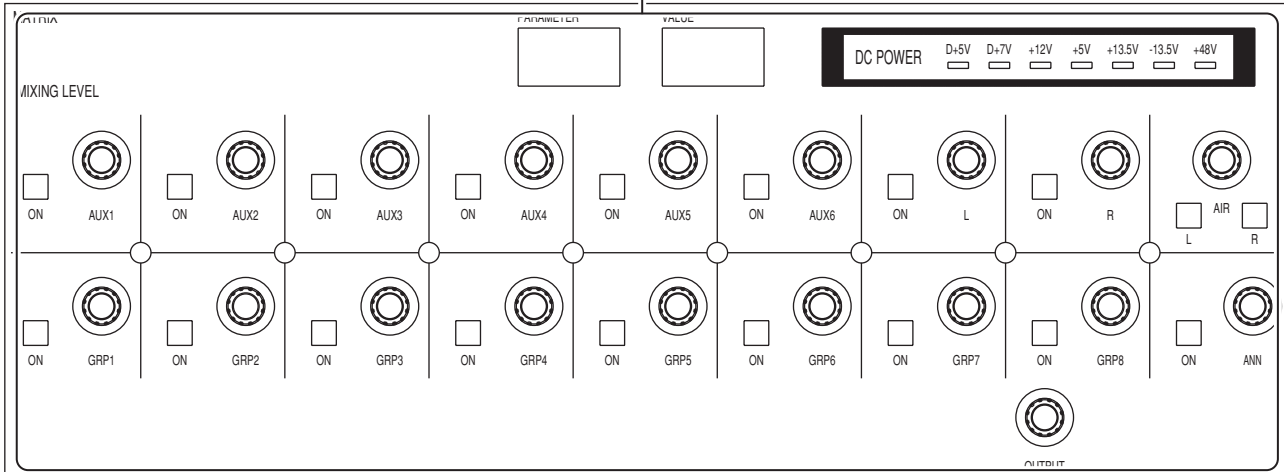
### ①①⑨ ライブラリMEMOスイッチ

- ダイナミクス、EQ、AUX SENDライブラリを書き込むときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にし、ライブラリ選択スイッチを押すと書き込まれます。

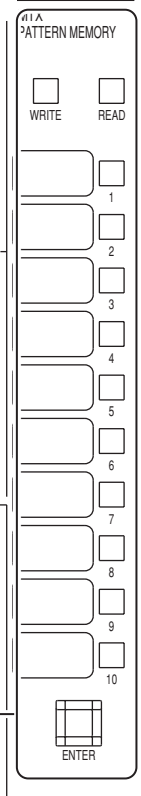
# 各部の名前と働き

## マトリクス部

マトリクスミキシング部  
(☞ 31ページ)

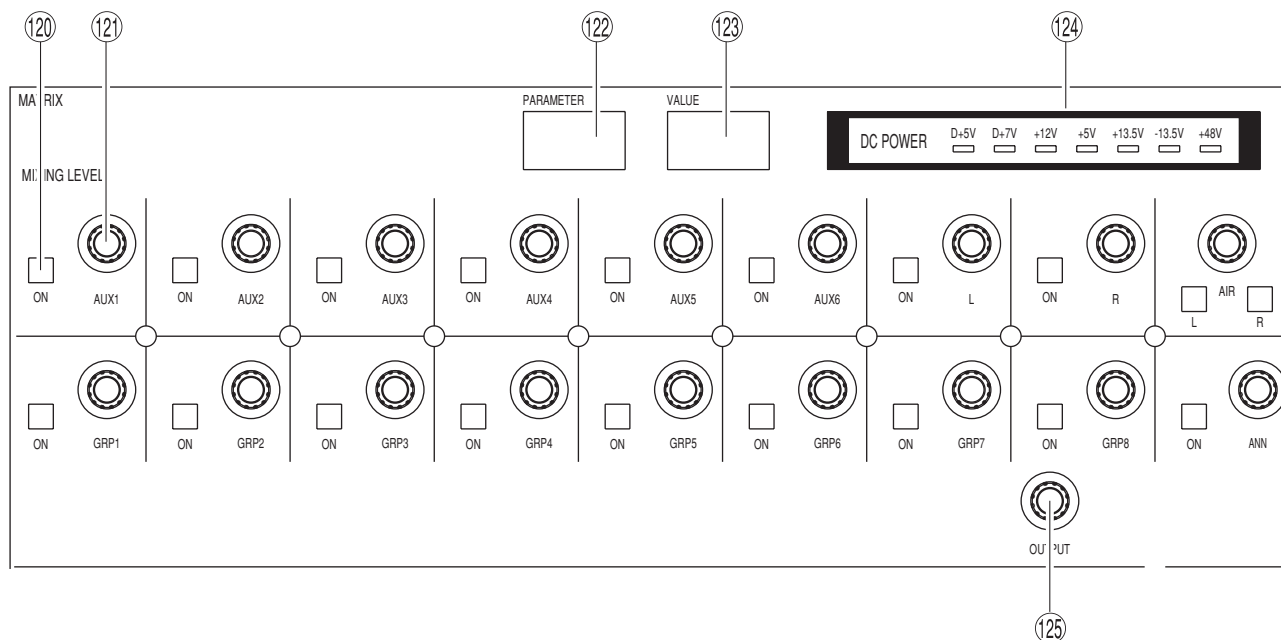


マトリクスマスター部  
(☞ 32ページ)



マトリクスパターン部  
(☞ 33ページ)

## 1.マトリクスミキシング部



### ⑫⑩ ミキシングON/OFFスイッチ

ON（点灯）にすると、各チャンネル（AUX1～6、マスターL、R、AIR L、R、グループ1～8、ANN）からの信号を選択したマトリクスマスターへ出力します。

### ⑫① ミキシングレベル調整ノブ

選択したマトリクスマスターへのミキシングレベルを調整します。（ $-\infty$  dB～+10 dB）

### ⑫② マトリクスPARAMETER表示部

マトリクスミキシング部操作時に、該当する名称を表示します。

### ⑫③ マトリクスVALUE表示部

ミキシングレベル調整ノブ操作によるレベル値を表示します。

### ⑫④ DC POWERインジケータ

電源電圧の供給状態をインジケータ表示します。

### ⑫⑤ マトリクスマスター出力調整ノブ

選択したマトリクスマスターの出力レベルを調整します。

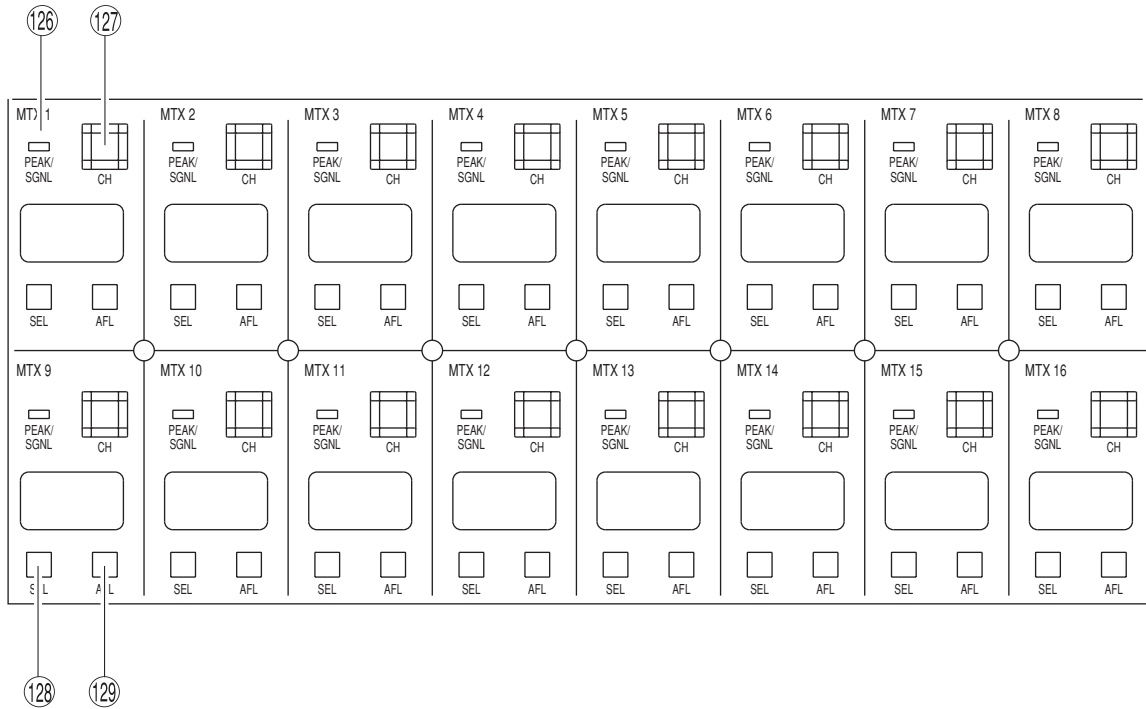
#### メモ

マトリクスミキシング部の各調整ノブを押下すると、該当するパラメータの設定値を変更することなく、マトリクスPARAMETER表示部、マトリクスVALUE表示部に現在の設定値を表示できます。

# 各部の名前と働き

## マトリクス部 (つづき)

### 2.マトリクスマスター部



#### ⑫⑥ PEAK/SGNL LED

- マトリクスマスターの入力レベルが-18 dBu以上のときに緑点灯します。
- マトリクスマスターの入力レベルが21 dBu以上のときに赤点灯します。

#### ⑫⑦ マトリクスマスター出力ON/OFFスイッチ

ON (点灯) にすると、マトリクスマスター信号を出力します。

本スイッチの下側には、チャンネル名称やロケーションを記入するために利用するネームプレートがあります。

#### ⑫⑧ マトリクスセレクトスイッチ

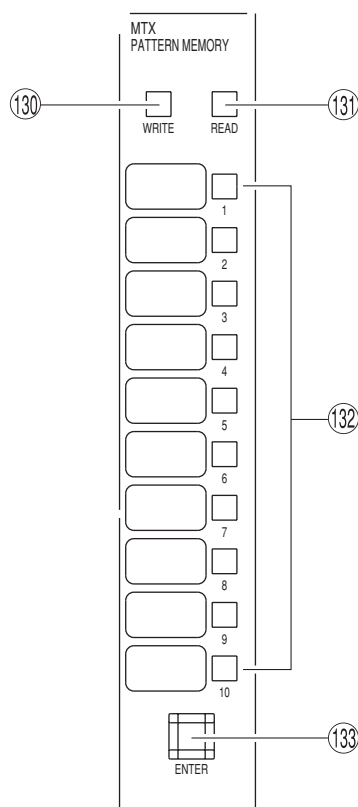
マトリクスミキシング部に、そのチャンネル (MTX1~16) の入力情報および出力レベルを表示します。

#### ⑫⑨ マトリクスAFLスイッチ

- ON (点灯) にすると、ポストフェーダー信号をモニターできます。
- 初期設定モードまたはリモートコントロールソフトで、ポジションをプリフェーダー信号に切り換えることができます。



### 3.マトリクスパターン部



#### ⑬⑩ マトリクスパターンライトスイッチ

- マトリクスパターンを書き込むときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にするとライトモードになります。

#### ⑬⑪ マトリクスパターンリードスイッチ

- マトリクスパターンを呼び出すときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にするとリードモードになります。

#### ⑬⑫ マトリクスパターン番号スイッチ

パターンライトおよびパターンリードするパターン番号を選択するスイッチです。

点灯：現在呼び出されたまたは書き込みされたマトリクスパターン

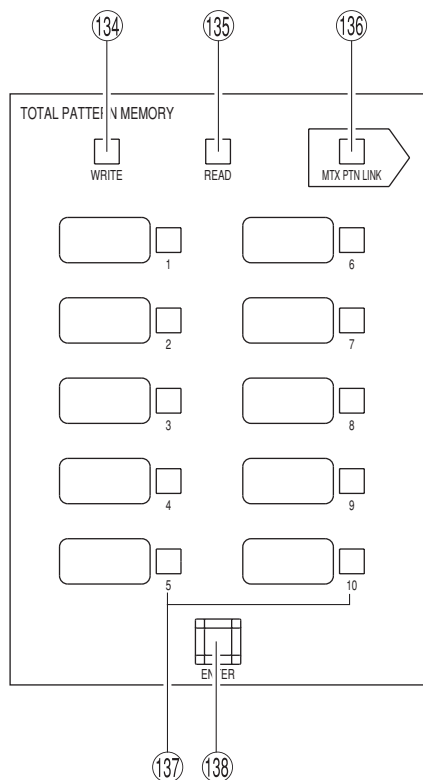
点滅：ライトモードまたはリードモード時に、書き込みまたは呼び出しを実行するパターン番号

#### ⑬⑬ マトリクスパターン確定スイッチ

- マトリクスパターンの呼び出し、書き込みを確定するスイッチです。
- ライトモードまたはリードモード時に選択され点滅しているマトリクスパターン番号スイッチは、本スイッチを押すことにより呼び出されたまたは書き込みが実行され点灯に変わります。

## 各部の名前と働き

### トータルパターン部



#### ⑬④ パターンライトスイッチ

- パターンを書き込むときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にするとライトモードになります。

#### ⑬⑤ パターンリードスイッチ

- パターンを呼び出すときに使用します。
- 本スイッチを押して点滅状態にするとリードモードになります。

#### ⑬⑥ マトリクスパターンリンクスイッチ

ON（点灯）にすると、ミキサー全体（マトリクスパターンを含む）で同じパターン番号に、呼び出し、書き込みを行います。  
OFF（消灯）時は、マトリクスを含まないパターンの呼び出し、書き込みを行います。（マトリクスパターン部の操作には影響ありません。）

#### ⑬⑦ パターン番号スイッチ

パターンライトおよびパターンリードするパターン番号を選択するスイッチです。

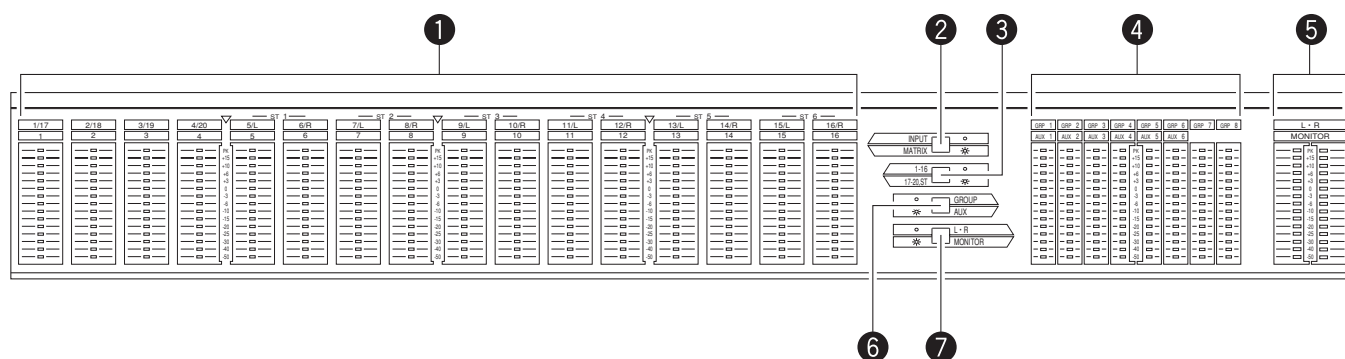
点灯：現在呼び出したまたは書き込みされたパターン

点滅：ライトモードまたはリードモード時に、書き込みまたは呼び出しを実行するパターン番号

#### ⑬⑧ パターン確定スイッチ

- パターンの呼び出し、書き込みを確定するスイッチです。
- ライトモードまたはリードモード時に選択され点滅しているパターン番号スイッチは、本スイッチを押すことにより呼び出したまたは書き込みが実行され点灯に変わります。

## メーターブリッジ



- ① インput、マトリクスレベル表示部**  
 切換スイッチの設定により、インput1～16またはインput17～20, ST、マトリクス出力のレベルを表示します。
- ② インput／マトリクス切換スイッチ**  
 インput、マトリクスレベル表示部に表示する内容を切り換えます。  
 点灯：マトリクス、消灯：インput
- ③ インput1～16 / 17～20, ST切換スイッチ**  
 インput／マトリクス切換スイッチで“インput（消灯）”選択時に、インput、マトリクスレベル表示部に表示するチャンネルを切り換えます。  
 点灯：インput17～20, ST1～6、消灯：インput1～16
- ④ グループ、AUXレベル表示部**  
 切換スイッチの設定により、グループバス出力、AUXバス出力のレベルを表示します。
- ⑤ L・R、モニターレベル表示部**  
 切換スイッチの設定により、L・R出力、モニター出力のレベルを表示します。
- ⑥ グループ／AUX切換スイッチ**  
 グループ、AUXレベル表示部に表示する内容を切り換えます。  
 点灯：AUX1～6、消灯：グループ1～8
- ⑦ L・R／モニター切換スイッチ**  
 L・R、モニターレベル表示部に表示する内容を切り換えます。ただし、PFLスイッチが点灯しているときは、本スイッチが点灯・消灯どちらの状態でもPFLレベルが表示されます。  
 点灯：モニター、消灯：L・R

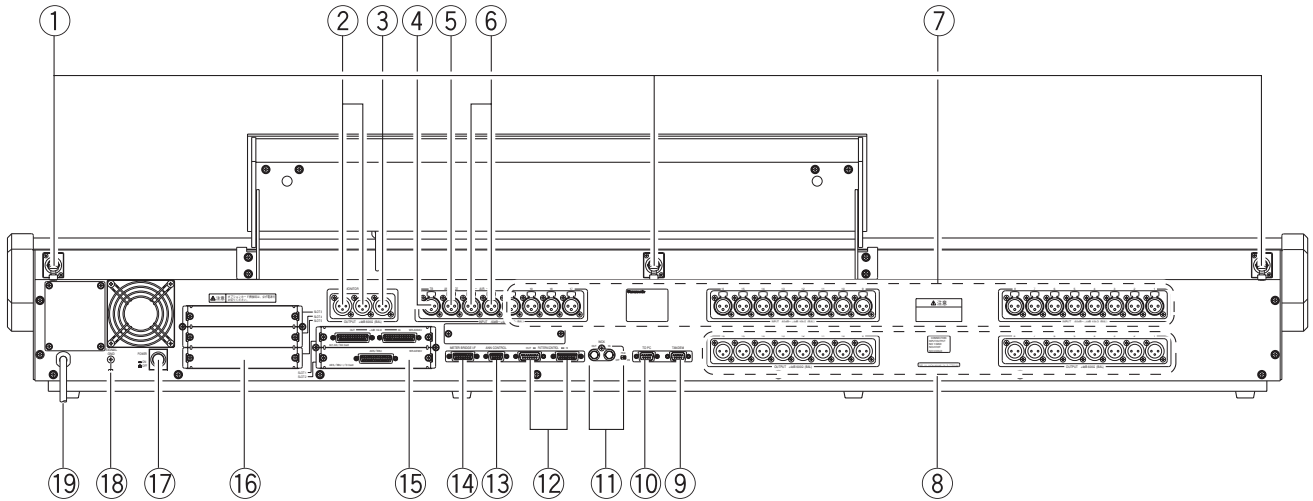
### メモ

インput／マトリクス切換スイッチ、インput1～16 / 17～20, ST切換スイッチ、グループ／AUX切換スイッチ、L・R／モニター切換スイッチにより表示を切り換えると、保持されているPEAKレベルの表示はすべてクリアされます。

# 各部の名前と働き

## リアパネル

各端子については、57ページの“外部制御端子について”を合わせてご覧ください。



- |   |  |
|---|--|
| ① リトライト接続端子 (XLR)   | ⑬ アナウンス制御用端子 (D-sub 9ピン)   |
| ② モニターL・R出力端子 (XLR)   | ⑭ メーターブリッジ接続端子 (D-sub 15ピン)  |
| ③ 内蔵トークバックマイク出力端子 (XLR)   | ⑮ スロット1, 2<br>次のカードが装着されています。<br>●スロット1 (上側)<br>8ch AD/DAアナログ入出力カード<br>(品番: WR-ADDAV)<br>●スロット2 (下側)<br>8ch AES/EBUデジタル入出力カード<br>(品番: WR-AESC) |
| ④ トークバック入力端子 (XLR)  | ⑯ スロット3, 4, 5<br>オプションカードを装着するスロットです。  |
| ⑤ アナウンスマイク入力端子 (XLR)  | ⑰ 電源スイッチ   |
| ⑥ エアマイクL・R入力端子 (XLR)  | ⑱ SIGNAL GND端子   |
| ⑦ インプット1~20端子 (XLR)   | ⑲ 電源コード  |
| ⑧ アウトプット1~16端子 (XLR)<br>出力する信号については、次ページの“出力端子<br>について”をご覧ください。 |  |
| ⑨ タンデム接続端子 (D-sub 9ピン)  |  |
| ⑩ パソコン端子 (D-sub 9ピン)  |  |
| ⑪ ワードクロック入出力端子 (BNC)<br>75 Ω 終端スイッチ                             |  |
| ⑫ パターン制御用端子 (D-sub 15ピン)  |  |

## ●出力端子について

本機は32系統の出力端子を備えています。内容は次のとおりです。

- アナログアウトプット1～16
- スロット1（アナログ8ch：工場出荷状態）
- スロット2（デジタル8ch：工場出荷状態）

上記出力端子に対して、次の信号を出力することができます。工場出荷状態では下表のようになっていますが、付属のリモートコントロールソフトから設定することもできます。

	出力系統	工場出荷状態
●グループバス1～8	アナログアウトプット1～8	マトリクス1～8
●AUXバス1～6	アナログアウトプット9～16	マトリクス9～16
●L・Rバス	スロット2 1～8	グループバス1～8
●モニターL・R	スロット1 1～6	AUXバス1～6
●ヘッドホンL・R	スロット1 7,8	L・Rバス
●PFL L・R		
●マトリクス1～16		

## ●スロット1, 2入力について

ステレオインプット1～6は、スロット1, 2から入力します。また、モニターEXT入力は、スロット1から入力します。（工場出荷時のカード装着状態です。）

スロット	入力信号
スロット1 1, 2チャンネル	なし
スロット1 3, 4チャンネル	モニターEXT（アナログ）
スロット1 5～8チャンネル	ステレオインプット1, 2（アナログ）
スロット2 1～8チャンネル	ステレオインプット3～6（デジタル）

## ●各スロットについて

スロット1～5には次のオプションカードを装着することができます。

- 8ch AD/DA入出力カード（品番：WR-ADDAV）
- 8ch AES/EBU入出力カード（品番：WR-AESC）
- タンデム接続カード（品番：WR-TNDM（2005年12月現在生産中止）、スロット5のみに装着可能）

スロット3, 4, 5には次の機能があり、付属のリモートコントロールソフトから設定することができます。

インプットインサージョン	スロット
INS	スロット
インプット1～8	スロット3, 5
インプット9～16	スロット4, 5
インプット17～ステレオインプット2	スロット3, 5
ステレオインプット3～6	スロット4, 5

- マトリクスEXT入力 : スロット3, 4, 5のみ
- GRP/LRインサージョン : スロット5のみ

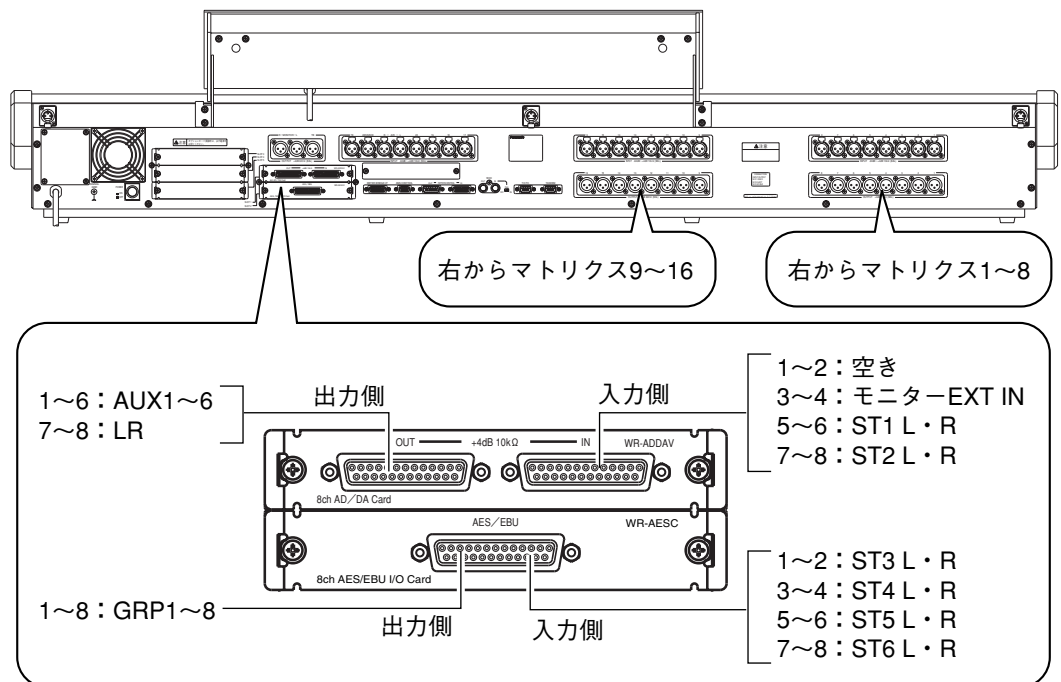
# 音を出すために

基礎編“音を出すために”では、本機を音声出力が可能な状態にするまでの操作方法について、次の順序で説明します。

1. リアパネル端子の工場出荷状態について
2. 基本的な接続例
3. 電源のON/OFF
4. インプットチャンネルの設定  
モノラル・ステレオインプットモジュールで、バスアサインを設定、出力レベルの調整を行います。
5. バスチャンネルの設定  
グループモジュールで、出力レベルの調整を行います。
6. マトリクスチャンネルの設定  
マトリクス部で、ミキシングレベルの設定、マトリクスマスターレベルの設定を行います。
7. マスターLRの設定  
マスターLRモジュールで、マスターL・R出力レベルの設定を行います。

## 1. リアパネル端子の工場出荷状態について

リアパネルの出力端子およびスロット入出力端子の工場出荷状態は次のようになっています。出力端子は、付属のリモートコントロールソフトから設定の変更ができます。



## 2. 基本的な接続例

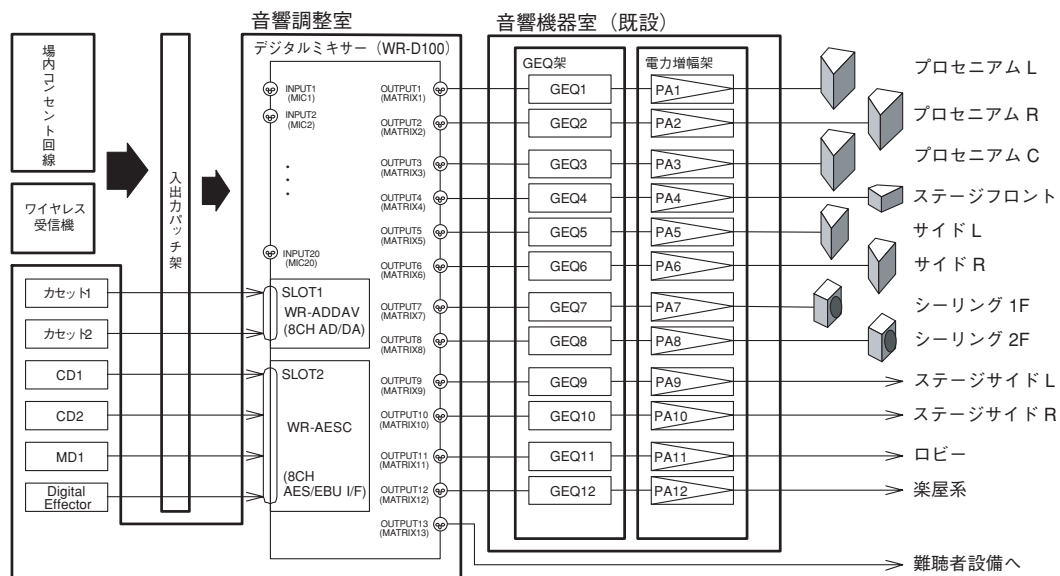
基本的な接続例として、次の機器をシステム系統図に従って接続してください。

入力：マイクをインプット1端子（XLR）に接続

：CDプレーヤーをST1用スロット1の入力5、入力6に接続（アナログ入力）

出力：マトリクス1用アンプ&スピーカーをアウトプット1端子（XLR）に接続

：モニターアンプ&スピーカーをモニターL・R出力端子（XLR）に接続

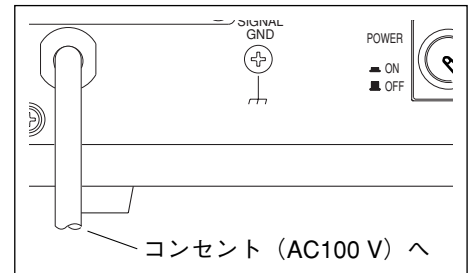


基本操作

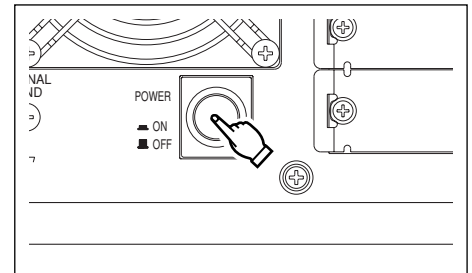
# 音を出すために

## 3. 電源のON/OFF

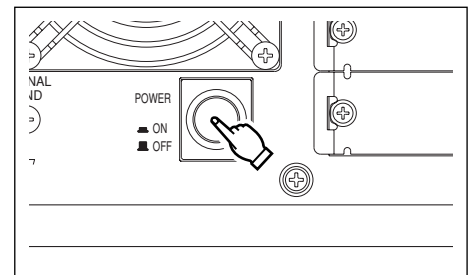
- 1** リアパネルの電源コードがコンセント（AC 100 V）に接続されていることを確認します。



- 2** リアパネルの電源スイッチを押します。
- 本機の電源が入り、DC POWERインジケータが点灯します。



- 3** 電源を切るときは、もう一度リアパネルの電源スイッチを押します。
- 本機の電源が切れます。



### メモ

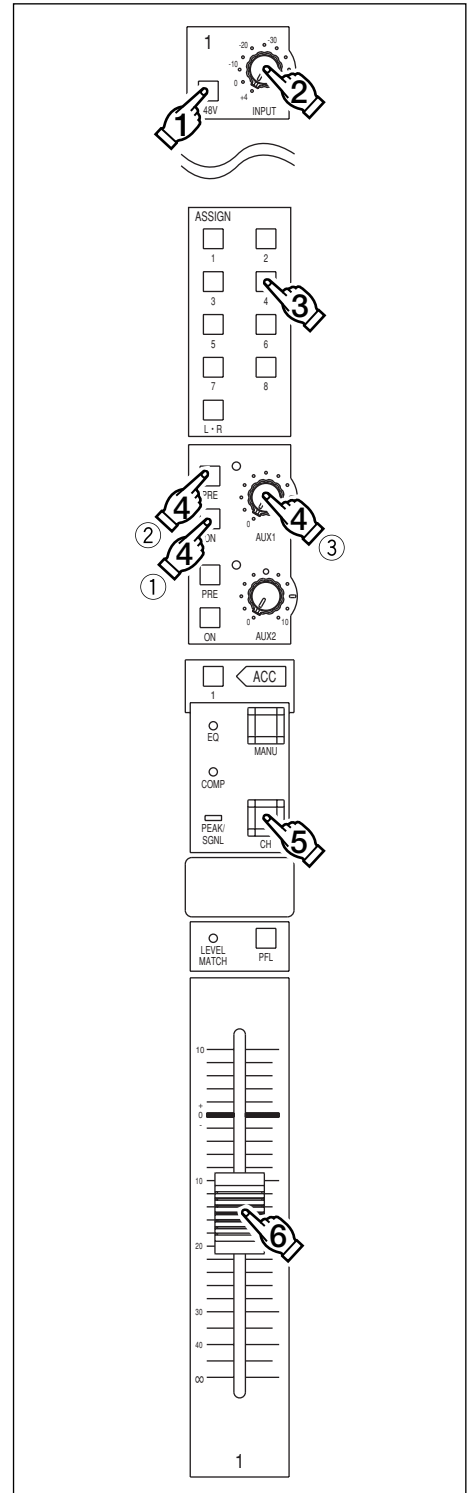
本機の電源をON/OFFするときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。



## 4. インプットチャンネルの設定

モノラルインプットモジュール、ステレオインプットモジュールの操作方法です。  
モノラルおよびステレオインプットモジュールには、各チャンネル毎にバスアサイン設定、  
AUX1, 2送り設定を行うスイッチがあります。

- 1 モノラルインプットモジュールの場合、ファンタム電源が必要なマイクが接続されているときは、ファンタム電源スイッチを1秒以上長押しします。
  - ファンタム電源スイッチが点灯します。
- 2 アナログトリム調整ノブを回し、入力レベルを調整します。
  - PEAK/SGNL LEDが赤点灯しないように調整してください。
- 3 GRP, LRバスアサインスイッチを押して、送り出し先のバスチャンネル（GRP1～8、L・R）を選びます。
  - 選択したスイッチが点灯します。
- 4 AUX1, 2ミキシングバスへ信号を送出するときは、次の操作を行います。
  - ①ON/OFFスイッチを押して点灯させます。
  - ②プリ／ポストスイッチを押して、送出する信号を選択します。
    - 点灯：PRE（プリフェーダー信号）
    - 消灯：POST（ポストフェーダー信号）
  - ③AUX1, 2調整ノブを回して、送出レベルを調整します。合致点LEDが緑点灯していないときは、調整ノブを回しても音が変わりません。緑点灯するように回してください。
- 5 チャンネルON/OFFスイッチを押します。
  - スイッチが点灯します。
- 6 フェーダーを徐々に上げて、手順3で選択したバスに信号を送ります。

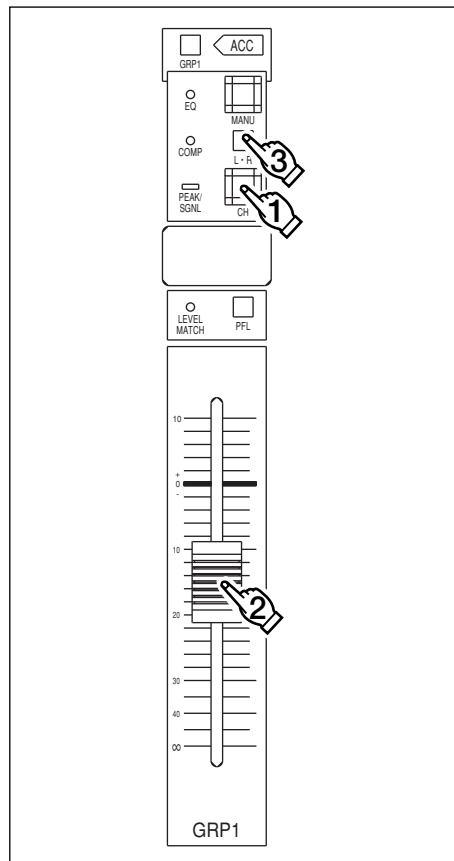


# 音を出すために

## 5. バスチャンネルの設定

グループモジュールの操作方法です。

- 1** チャンネルON/OFFスイッチを押します。
  - スイッチが点灯します。
- 2** フェーダーを徐々に上げて、0 dB程度に設定します。
  - PFLスイッチをON（点灯）にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。
- 3** マスターLRモジュールへ信号を送るときは、L・Rスイッチを押します。
  - スイッチが点灯します。
  - マスターLRモジュールで最終的なステレオミキシングを行います。



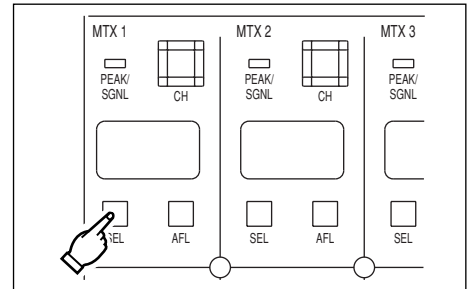
## 6. マトリクスチャンネルの設定

マトリクス部の操作方法です。次の操作を行うと、マトリクス1~16がアウトプット1~16に出力されます。(工場出荷状態の場合)

設定したいマトリクスチャンネルをマトリクスマスター部で選択し、各操作をマトリクスミキシング部で行います。

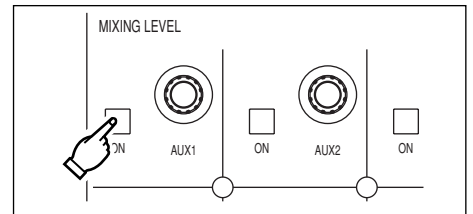
- 1 設定したいマトリクスチャンネル (MTX1~16) のマトリクスセレクトスイッチを押します。

- スイッチが点灯し、マトリクスミキシング部に、選択したチャンネルの入力情報および出力レベルが表示されます。



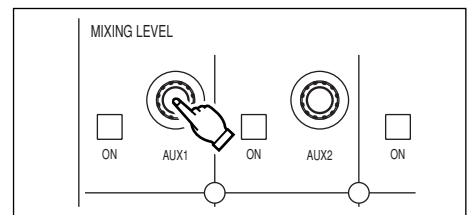
- 2 調整したいチャンネル (AUX1~6、マスターL、マスターR、AIR LR、GRP1~8、ANN) のミキシングON/OFFスイッチを押します。

- 選択したスイッチが点灯します。



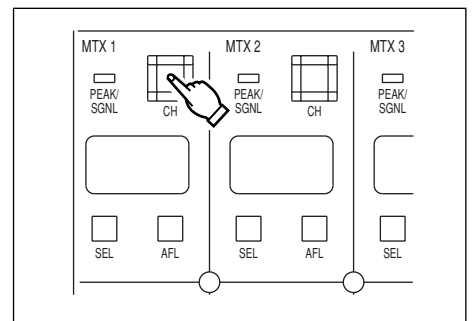
- 3 ミキシングレベル調整ノブを回し、マトリクスマスターへの出力レベルを調整します。

- 手順2, 3の操作をくり返し、各チャンネルの設定を行います。



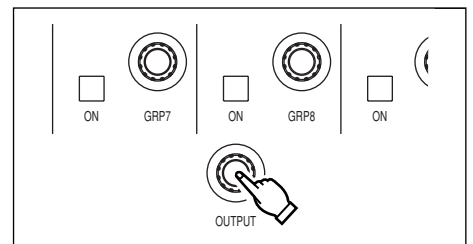
- 4 手順1で選択したマトリクスチャンネルのマトリクスマスター出力ON/OFFスイッチを押します。

- スイッチが点灯し、マトリクスマスター信号が送出されます。



- 5 マトリクスマスター調整ノブを回し、マトリクスマスターの出力レベルを調整します。

- 手順1~5の操作をくり返し、各マトリクスチャンネルの設定を行います。

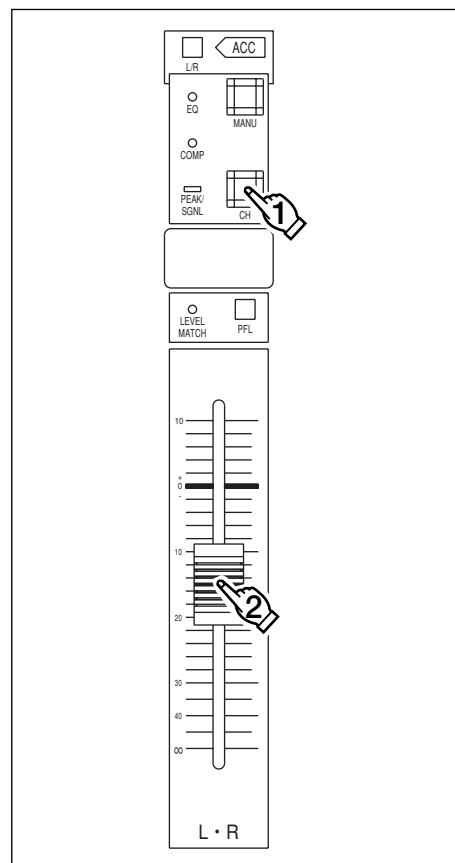


# 音を出すために

## 7. マスターLRの設定

マスターLRモジュールの操作方法です。次の操作を行うと、スロット1の7端子からマスターL、スロット1の8端子からマスターRが出力されます。(工場出荷状態の場合)

- 1 チャンネルON/OFFスイッチを押します。
  - スイッチが点灯します。
- 2 フェーダーを徐々に上げて、出力レベルを調整します。
  - PFLスイッチをON（点灯）にすると、プリフェーダー信号をモニターできます。



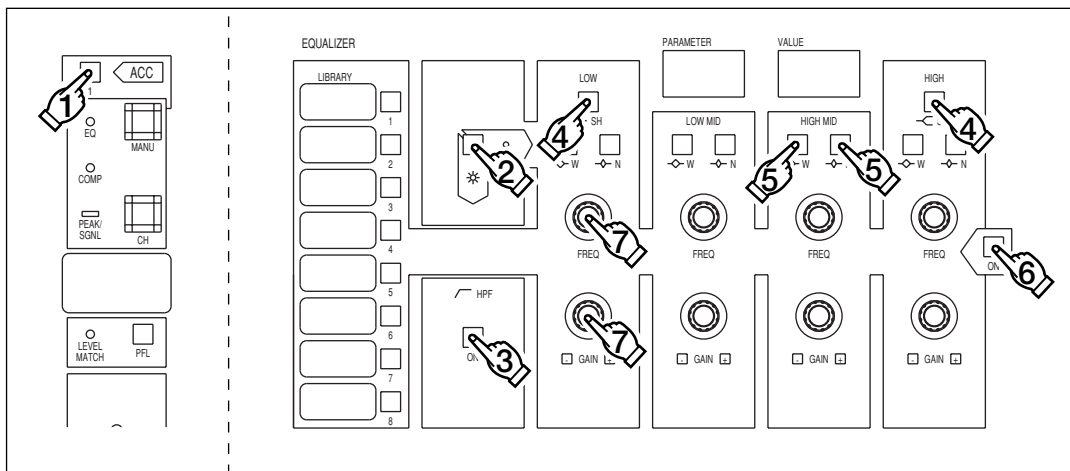
# 基本機能の設定

基礎編“基本機能の設定”では、音作りに重要な基本機能の使用方法について、次の順序で説明します。各設定操作は、設定したいチャンネルを各モジュールのアクセススイッチで選択し、チャンネルコントロール部にて行います。

1. イコライザーの設定
2. ダイナミクス設定
3. ディレイの設定
4. インサージョンの設定

## 1. イコライザーの設定

インプットチャンネルおよびグループチャンネル、マスターLR、エアマイク、アナウンスマイク、トークバックのイコライザー設定は、次の手順で行います。  
チャンネルコントロール部にある“EQUALIZER”操作部の操作方法です。



**1** イコライザー設定を行うチャンネルのアクセススイッチを押します。

- スイッチが点灯し、選択したチャンネルの情報がチャンネルコントロール部に表示されます。

**2** フィルター選択スイッチを押して、フィルタータイプを設定します。

- 点灯：HPF (☞ 手順3へ)
- 消灯：PEQ (☞ 手順4へ)

**3** HPF ON/OFFスイッチを押して、ON (点灯) にします。

- 手順7へ進んでください。

**4** LOWバンドおよびHIGHバンドのシェルビングスイッチを設定します。

- 点灯：SHL、消灯：PKG

**5** 手順4で“PKG”に設定した場合、Q選択スイッチでQ設定を行います。

- W：Q=0.7、N：Q=3.2  
(工場出荷時の設定です)

**6** EQ ON/OFFスイッチをON (点灯) にします。

- 手順1で選択したチャンネルのイコライザー機能が働きます。

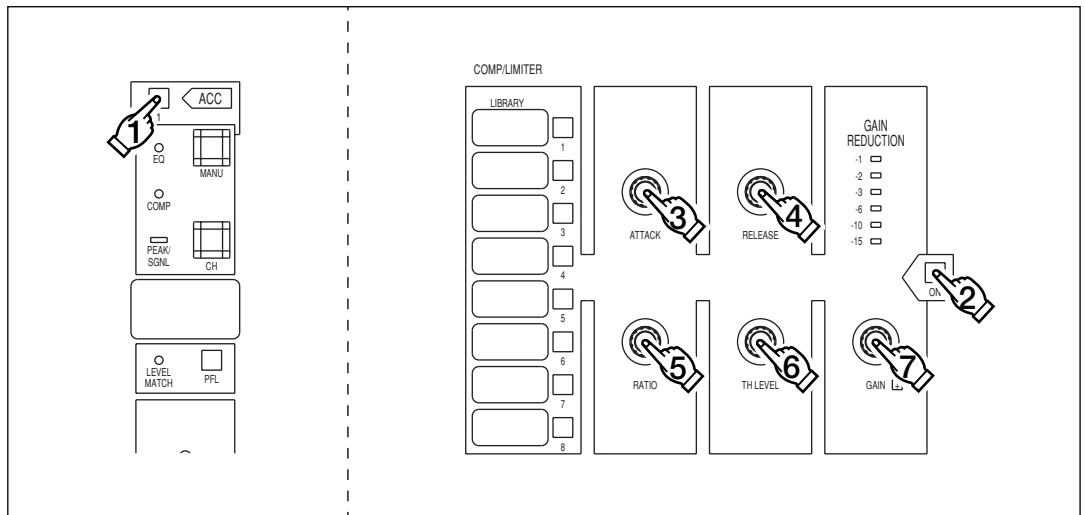
**7** ゲイン調整ノブ、周波数調整ノブを回してパラメータを調整します。

- 調整値はVALUE表示部に表示されます。

# 基本機能の設定

## 2. ダイナミクス設定

インプットチャンネルおよびグループチャンネル、マスターLR、エアマイク、アナウンスマイク、トークバックのダイナミクス設定は、次の手順で行います。  
チャンネルコントロール部にある“COMP/LIMITER”操作部の操作方法です。



- 1** ダイナミクス設定を行うチャンネルのアクセススイッチを押します。
  - スイッチが点灯し、選択したチャンネルの情報がチャンネルコントロール部に表示されます。
- 2** ダイナミクスON/OFFスイッチをON（点灯）にします。
  - 手順1で選択したチャンネルのダイナミクス機能が働きます。
- 3** アタックタイム調整ノブを回してパラメータを調整します。（0 ms～200 ms）
  - 右に回すと1 msずつ増加し、左に回すと1 msずつ減少します。
- 4** リリースタイム調整ノブを回してパラメータを調整します。（5 ms～2000 ms）
  - 右に回すと5 msずつ増加し、左に回すと5 msずつ減少します。
- 5** レシオ調整ノブを回してパラメータを調整します。
- 6** スレッシュホールド調整ノブを回してパラメータを調整します。（+24 dB～-16 dB）
  - 右に回すと1 dBずつ減少し、左に回すと1 dBずつ増加します。
- 7** ゲイン調整ノブを回してパラメータを調整します。（0 dB～+12 dB）
  - 右に回すと0.5 dBずつ増加し、左に回すと0.5 dBずつ減少します。

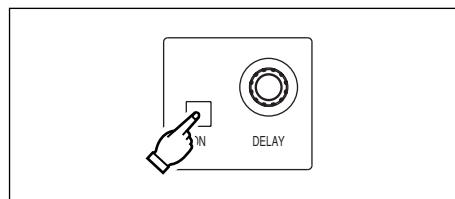
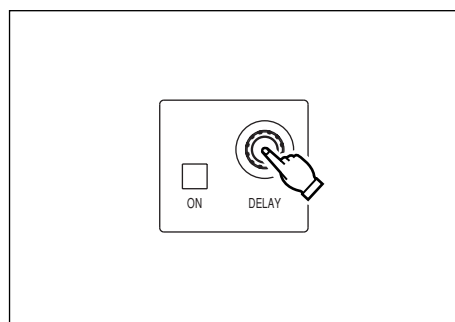
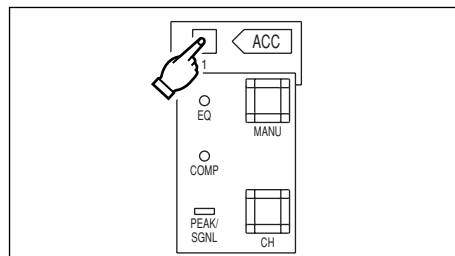
### メモ

付属のリモートコントロールソフトを使用すると、EXPANDERモードに切り換えることができます。（トークバックを除く）  
この場合、ゲイン調整ノブはレンジ調整ノブとして機能します。

### 3. ディレイの設定

インプットチャンネルのディレイ設定は、次の手順で行います。  
チャンネルコントロール部にある“DELAY”操作部の操作方法です。

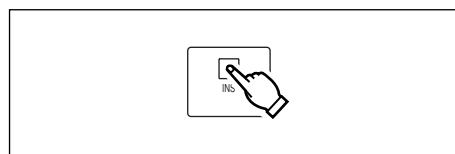
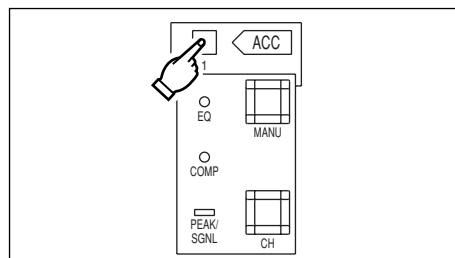
- 1 ディレイ設定を行うチャンネルのアクセススイッチを押します。
  - スイッチが点灯し、選択したチャンネルの情報がチャンネルコントロール部に表示されます。
- 2 ディレイタイム調整ノブを回してディレイタイムを調整します。(0 ms~300 ms)
  - 右に回すと0.1 msずつ増加し、左に回すと0.1 msずつ減少します。  
また、押しながら右に回すと1 msずつ増加し、押しながら左に回すと1 msずつ減少します。
- 3 ディレイON/OFFスイッチをON（点灯）にします。
  - 手順1で選択したチャンネルのディレイ効果が働きます。



### 4. インサージョンの設定

インプットチャンネルおよびグループチャンネル、マスターLRのインサージョン設定は、次の手順で行います。チャンネルコントロール部にある“INS”スイッチの操作方法です。

- 1 インサージョン設定を行うチャンネルのアクセススイッチを押します。
  - スイッチが点灯し、選択したチャンネルの情報がチャンネルコントロール部に表示されます。
- 2 INSスイッチをON（点灯）にします。
  - 手順1で選択したチャンネルのインサージョンが設定されます。



#### メモ

インサージョンを使用するには、スロット3~5へオプションカードを装着するとともに、インサージョンを使用するチャンネルの設定が必要です。(初期設定モードあるいはリモートコントロールソフトにて設定)

# モニター機能の設定

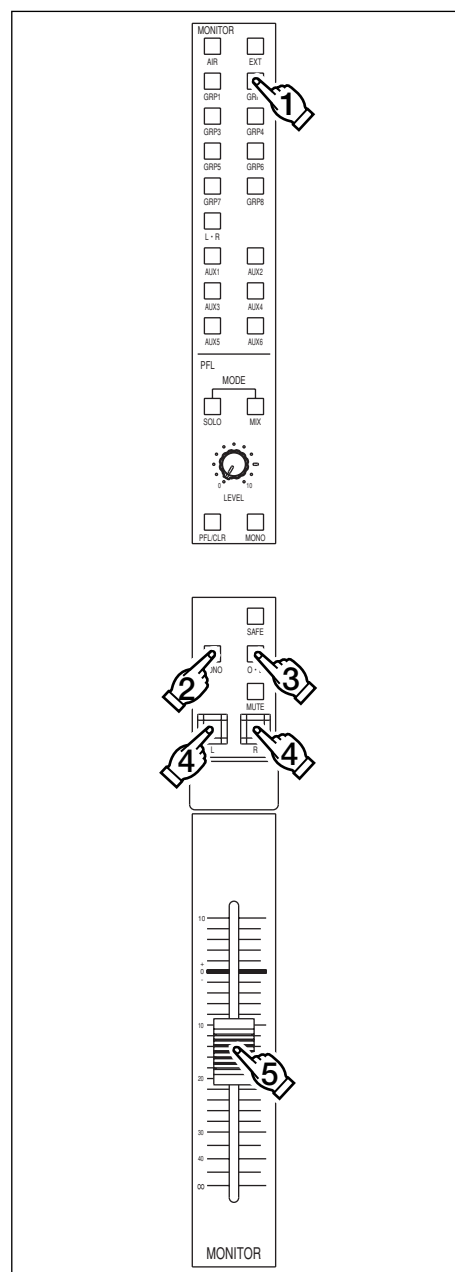
基礎編“モニター機能の設定”では、各種モニター機能の使用方法について、次の順序で説明します。

1. バスモニターの設定
2. PFL / AFLの設定
3. エアマイクの設定
4. トークバック／オシレータの設定
5. アナウンスマイクの設定

## 1. バスモニターの設定

バスチャンネル、AUXチャンネルのモニター機能設定は、次の手順で行います。ユーティリティ部にある“モニター”操作部の操作方法です。

- 1** モニターソース選択スイッチを押し、モニター出力するソースを選択します。
  - 選択したスイッチが点灯します。
- 2** モニターMONOスイッチを設定します。
  - ON（点灯）にすると、ステレオソースをモノラルソースとして扱います。  
点灯：モニターモノラルミックス状態  
消灯：ステレオ状態
- 3** モニターODD/EVENスイッチを設定します。
  - グループ1～8、AUX1～6をステレオでモニターするときにON（点灯）します。  
点灯：ステレオ状態  
消灯：モノラル状態
- 4** モニター出力L、モニター出力R ON/OFFスイッチをON（点灯）にします。
- 5** モニターフェーダーを徐々に上げて、モニターL、R出力に信号を送ります。





## 2. PFL / AFLの設定

各チャンネルのフェーダー前後\*のモニターを行うことができます。  
ユーティリティ部にある“モニター”操作部の操作方法です。

※付属のリモートコントロールソフトにより、ファンクション部に“PFL/AFL切換機能”  
を割り当てた場合設定できます。通常の設定は“PFL”です。

**1** “バスモニターの設定 (☞ 左ページ)” 手順  
1~5の操作を行います。

**2** PFL/AFLを行いたいチャンネルのPFLスイ  
ッチをON (点灯) にします。

**3** PFLモード選択スイッチを設定します。

SOLO : 単一チャンネルのPFL (AFL)  
が選択できます。

MIX : 同時に複数チャンネルのPFL  
(AFL) が選択できます。

- SOLOモードを選択すると、直前にPFLが  
ONになったチャンネルのみモニターされ  
ます。

- MIXモードを選択すると、PFLがONにな  
っているチャンネルの音声をすべてミッ  
クスしてモニターされます。

**4** PFL MONOスイッチを設定します。

- ON (点灯) にすると、PFL出力からのス  
テレオソースをモノラルソースとして扱  
います。

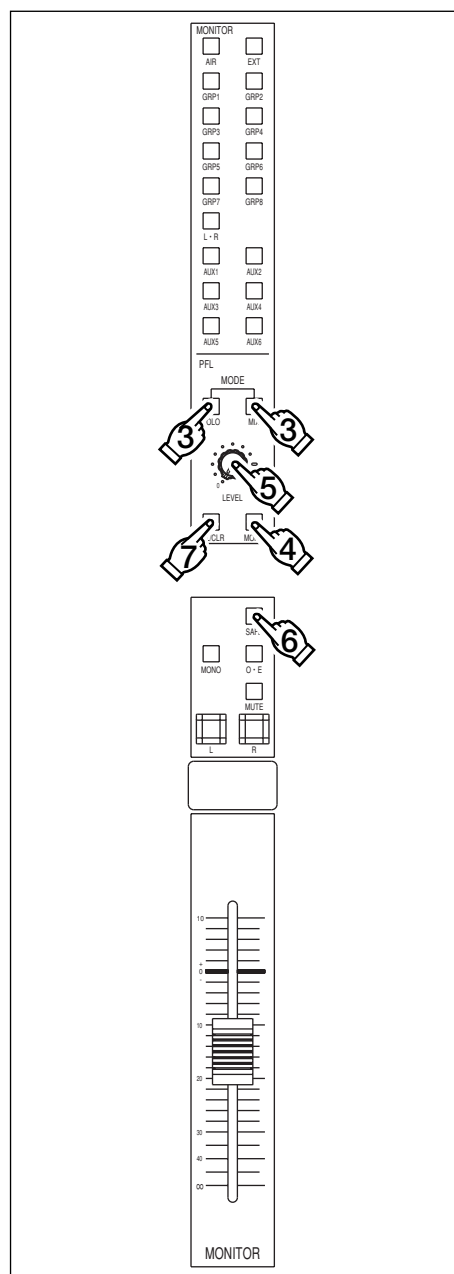
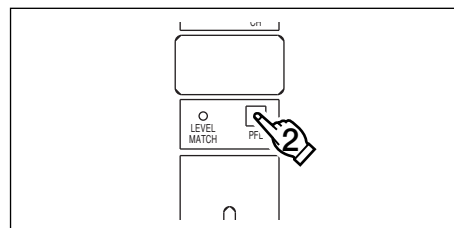
点灯 : PFLモノラルミックス状態  
消灯 : PFLステレオ状態

**5** PFL出力レベル調整ノブを回して出力レベ  
ルを調整します。

**6** PFL SAFEスイッチをON (点灯) にすると、  
モニター選択スイッチで選択されているソ  
ース本来の音声をモニターできます。

- PFL、AFLのモニター出力が割り込みませ  
ん。

**7** PFL/CLRスイッチ (点灯時) を押すと、す  
べてのチャンネルのPFLを解除できます。



# モニター機能の設定

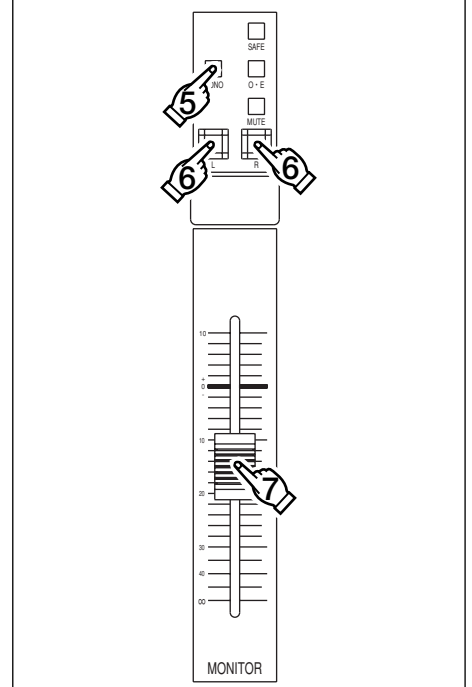
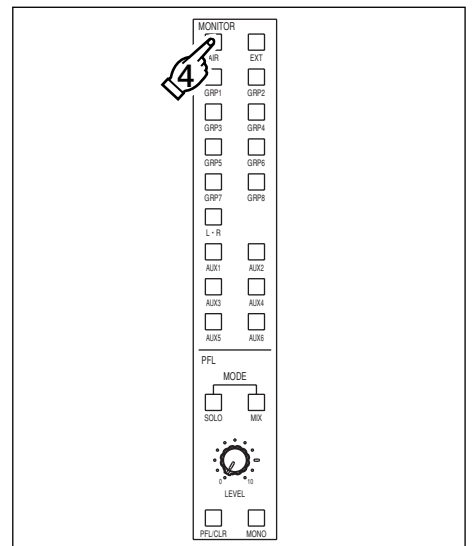
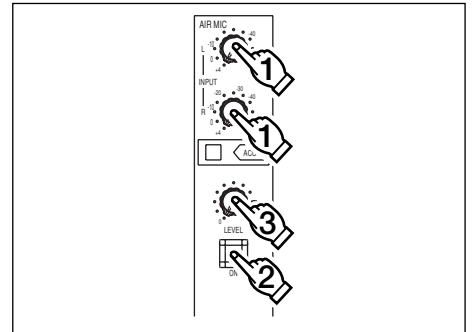
## 3. エアマイクの設定

エアマイクのモニターを行うことができます。  
ユーティリティ部にある“エアマイク”“モニター”操作部の操作方法です。

- 1 エアマイクL側・エアマイクR側入力調整ノブを回してエアマイクの入力レベルを調整します。
- 2 エアマイク出力ON/OFFスイッチをON（点灯）にします。
- 3 エアマイク出力調整ノブを回してモニターへの出力レベルを調整します。
- 4 モニターソース選択“AIR”スイッチを押します。
  - スイッチが点灯します。
- 5 モニターMONOスイッチを設定します。
  - ON（点灯）にすると、ステレオソースをモノラルソースとして扱います。  
点灯：モニターモノラルミックス状態  
消灯：ステレオ状態
- 6 モニター出力L、モニター出力R ON/OFFスイッチをON（点灯）にします。
- 7 モニターフェーダーを徐々に上げて、モニターL, R出力に信号を送ります。

### メモ

エアマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。



## 4. トークバック／オシレータの設定

トークバックおよびオシレータをバスチャンネルに出力します。  
ユーティリティ部にある“トークバック／オシレータ”操作部の操作方法です。

### ●出力先を設定する

- 1 TB/OSC出力バス選択スイッチを押し、トークバックおよびオシレータの音声を出力するチャンネルを選択します。

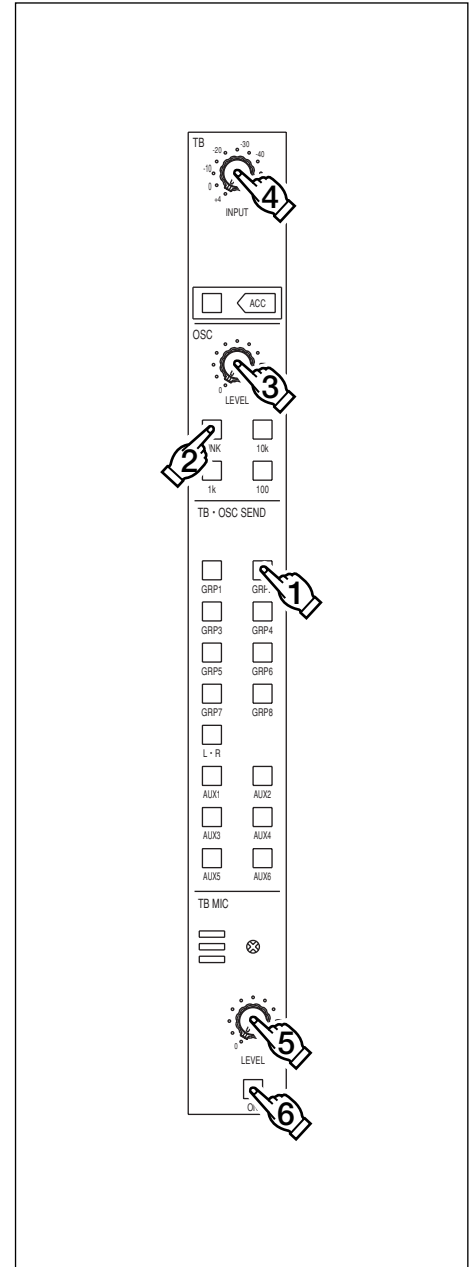
### ●オシレータを設定する

- 2 OSC周波数選択スイッチを押し、発信周波数を選択します。
  - PINK、10k、1k、100から選択してください。
  - 選択したスイッチが点灯し、手順1で選択したチャンネルにオシレータ信号が入力されます。

- 3 OSC出力調整ノブを回してオシレータの出力レベルを調整します。

### ●トークバックを設定する

- 4 TBマイク入力調整ノブを回してトークバックマイクの入力レベルを調整します。
- 5 TB出力調整ノブを回してトークバックの出力レベルを調整します。
- 6 TB ON/OFFスイッチを押している間ONになり、手順1で選択したチャンネルにトークバックが入力されます。
  - スイッチをダブルクリック（2度押し）すると、常時ONになります。
  - オシレータ信号入力中は、トークバックを入力することはできません。



#### メモ

- トークバックマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。
- 内蔵TBマイクを使用する場合は、リアパネルの内蔵トークバック出力端子とトークバック入力端子を付属のパッチケーブルで接続してください。

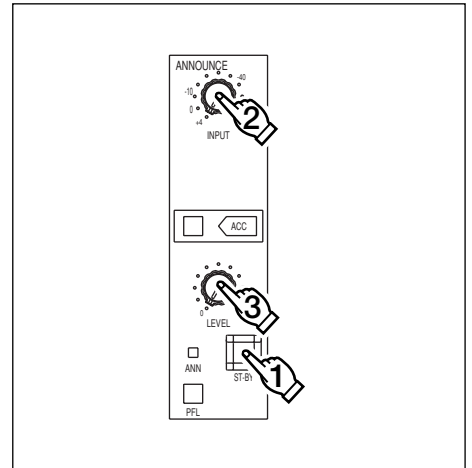
# モニター機能の設定

## 5. アナウンスマイクの設定

カフボックスで制御できるアナウンスマイクの回路を使用する場合は、次のように設定します。

ユーティリティ部にある“アナウンスマイク”操作部の操作方法です。

- 1** ANNマイクスタンバイスイッチをON(点灯)にします。
- 2** ANNマイク入力調整ノブを回してアナウンスマイクの入力レベルを調整します。
- 3** ANNマイク出力調整ノブを回してアナウンスマイクの出力レベルを調整します。
- 4** カフを上げるとアナウンスマイクがONになります。



### メモ

アナウンスマイクのファンタム電源スイッチについては、初期設定モードあるいは付属のリモートコントロールソフトにて設定することができます。

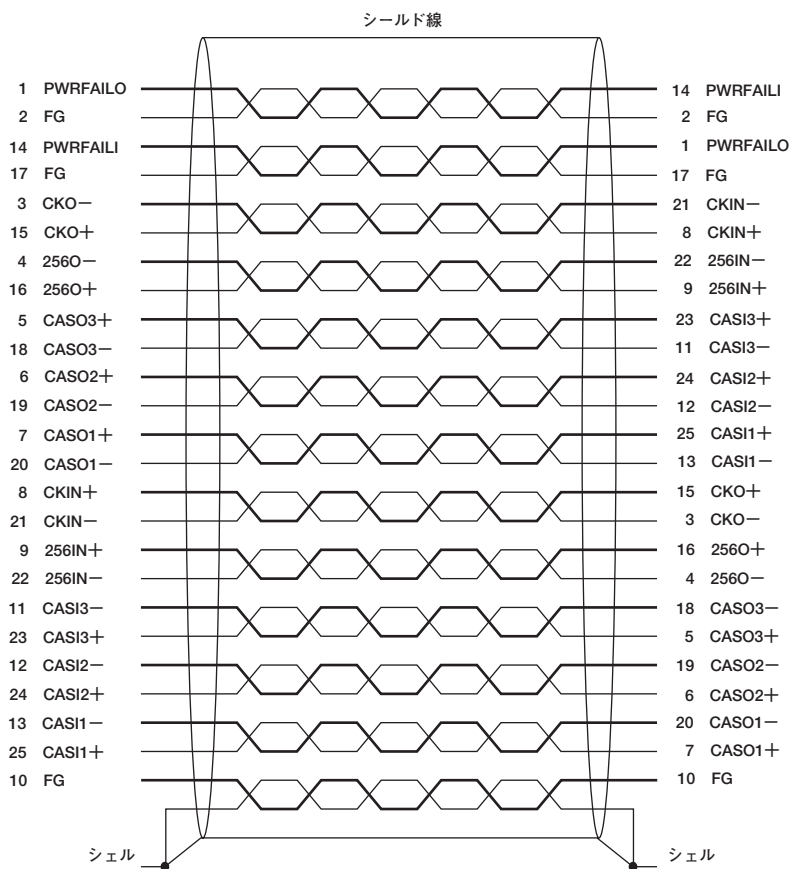
# WR-DA7とのタンデム接続例

本機とWR-DA7（2005年12月現在生産中止）を2台並列して動作させるタンデム接続の方法を説明します。

## 1. 準備（タンデム接続に必要な物）

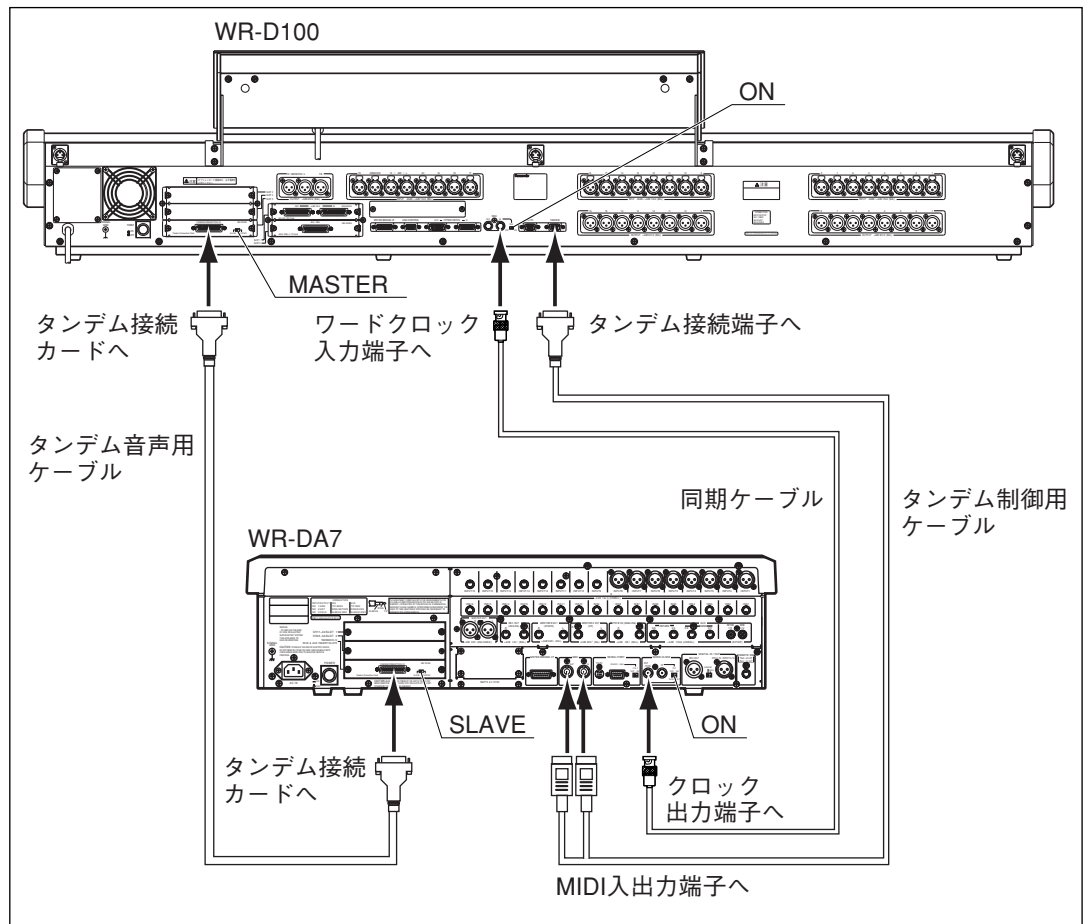
- タンデム接続カード（品番：WR-TNDM）（2005年12月現在生産中止） ……………2
- 同期ケーブル（特性インピーダンス75ΩのBNCケーブル、3C-2V等）……………1
- タンデム音声用ケーブル（下図）……………1
- タンデム制御用ケーブル（[図58](#) 58ページ）……………1

### ● タンデム音声用ケーブル仕様



# WR-DA7とのタンデム接続例

## 2. 本機とWR-DA7を接続する

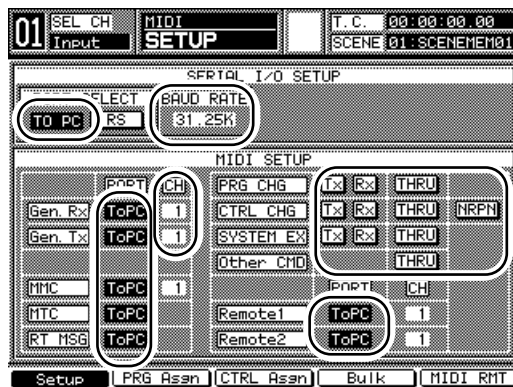
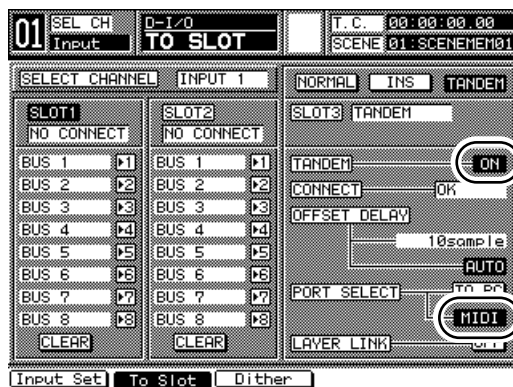
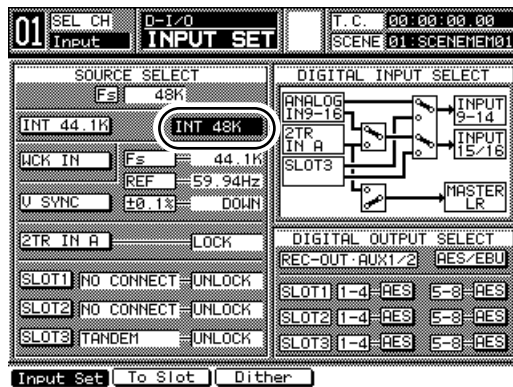


- 1 タンデム接続カードを本機に装着します。(スロット5のみ装着可能)
  - 装着前に、初期設定モード (☞ 66ページ) またはリモートコントロールソフトにて、スロット5の設定が“機能無し (工場出荷時設定)”になっていることを確認してください。
  - 本機への装着は61ページをご覧ください。
- 2 タンデム接続カードをWR-DA7に装着します。(スロット3のみ装着可能)
  - WR-DA7の取扱説明書をご覧ください。
- 3 本機のワードクロック入力端子 (WCK IN) とWR-DA7のクロック出力端子 (WORD CLOCK OUT) を同期ケーブルで接続します。
  - 終端スイッチは次のように設定してください。  
本機 : ON  
WR-DA7 : ON
- 4 本機とWR-DA7のタンデム接続カードをタンデム音声用ケーブルで接続します。
- 5 本機側タンデム接続カードのマスター/スレーブ切換スイッチを“MASTER”に設定します。
- 6 WR-DA7側タンデム接続カードのマスター/スレーブ切換スイッチを“SLAVE”に設定します。

### 3. WR-DA7を設定する

WR-DA7の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 1 WR-DA7パネル面の [D-I/O] キーを数回押し、デジタル入力設定画面 (右記) を呼び出します。
- 2 ワードクロックソース (SOURCE SELECT) を “INT 48K” に設定します。
- 3 WR-DA7パネル面の [D-I/O] キーを数回押し、スロット設定画面 (右記) を呼び出します。
- 4 TANDEMを “ON” に設定します。
- 5 PORT SELECTを “MIDI” に設定します。
- 6 WR-DA7パネル面の [MIDI] キーを数回押し、MIDI設定画面 (右記) を呼び出します。
- 7 ボーレート (BAUD RATE) を “31.25K” に設定します。
- 8 Gen. Rx、Gen. Txのチャンネル (CH) を “1” に設定します。
- 9 すべてのポート (PORT) を “ToPC” に設定します。
- 10 PRG CHG、CTRL CHG、SYSTEM EX、Other CMDのすべてのボタンを “OFF” (白地黒文字) に設定します。
- 11 WR-DA7パネル面の [MIDI] キーを数回押し、MIDIバルクアウト画面 (右記) を呼び出します。
- 12 Rxを “OFF” に設定します。



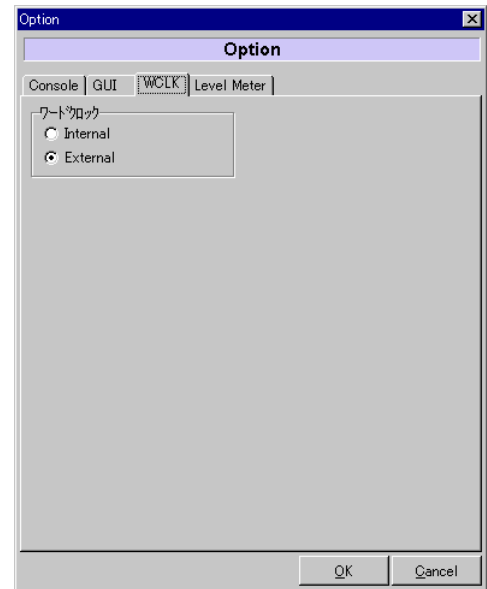
設置

# WR-DA7とのタンデム接続例

## 4. リモートコントロールソフトを設定する

付属のCD-ROMに収められているリモートコントロール用操作ガイド（PDFファイル）も合わせてご覧ください。

- 1 本機とリモートコントロールソフトを起動し、オンライン接続します。（[p.75](#)ページ）
- 2 リモートコントロールソフトのツールメニューから“オプション”を選択し、オプションウィンドウを表示させます。
- 3 WCLKタブをクリックします。（右記）
- 4 ワードクロックを“External”に設定し、OKボタンをクリックします。



### メモ

この設定により、本機は外部クロック同期となります。従ってクロックマスターとなるWR-DA7の電源を切らないでください。ワードクロックエラーとなり正常に動作しなくなります。

WR-DA7の電源を切り本機単体で使用する場合は、必ずワードクロック設定を“Internal”に戻してください。

## 5. WR-DA7を使用したタンデム接続の注意事項

- 本機とWR-DA7をタンデム接続する場合は、必ずWR-DA7の電源を入れた状態でご使用ください。
- WR-DA7は $\pm 0 \text{ dB} = -14 \text{ dBFS}$ になっており、本機は $\pm 0 \text{ dB} = -20 \text{ dBFS}$ になっているため、 $+4 \text{ dBu}$ を入力したときに6 dBのレベル差が生じます。本機とWR-DA7をタンデム接続する場合は、WR-DA7側のヘッドアンプのトリム、インプットゲイン等で6 dB下げなどの調整を行ってください。
- WR-DA7Vにはタンデム機能がないため、本機とのタンデム接続に使用することはできません。

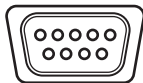


# 外部制御端子について

## アナウンス制御

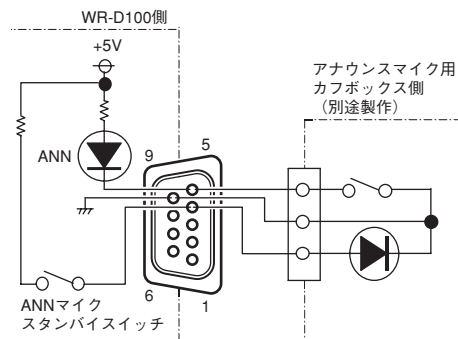
アナウンスマイク用カフボックスを接続する場合は、アナウンス制御用端子を使用します。アナウンス制御用端子（D-sub9ピン）の仕様は次のとおりです。

ANN CONTROL



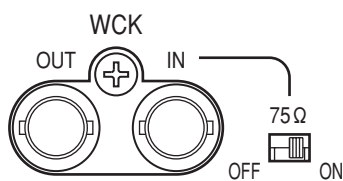
ピン番号	信号名
1	NC
2	NC
3	NC
4	ST-BY
5	ANN
6	NC
7	NC
8	NC
9	DG

- **アナウンススタンバイ出力（4番ピン）**  
5 V出力、抵抗150 Ω内蔵。  
（使用LEDの $V_D=2$  V時、 $I=20$  mA出力）  
ANNマイクスタンバイスイッチの点灯状態に一致。
- **アナウンスタリー入力（5番ピン）**  
GNDとのショートにより、ANNマイクLEDを点灯。
- **推奨接続例**



## ワードクロック入出力

ワードクロック入出力端子（BNC）の仕様は次のとおりです。



メモ

初期設定モード\*（※ 66 ページ）またはリモートコントロールソフトで、ワードクロックの内部同期と外部同期を切り換えることができます。

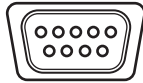
- **ワードクロック出力端子（WCK OUT）**  
内部同期使用時は同期用のワードクロックを出力し、外部同期使用時は外部からのワードクロック入力のスルー出力します。75 Ω 終端スイッチにより切換が可能です。  
ON : 内部クロックの出力  
OFF : 外部クロック入力のスルー出力  
出力インピーダンス : 75 Ω  
信号レベル : TTL
- **ワードクロック入力端子（WCK IN）**  
外部同期使用時、外部からのワードクロックを入力します。  
同期周波数 : 48 kHz  
入力インピーダンス : 75 Ω（75 Ω 終端スイッチによりON/OFF可能）  
信号レベル : TTL

# 外部制御端子について

## メーターブリッジ制御

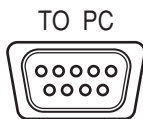
メーターブリッジを制御するための専用端子がメーターブリッジ接続端子です。メーターブリッジからのケーブルを接続します。他のケーブルは接続しないでください。

METER BRIDGE I/F

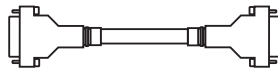


## PC制御

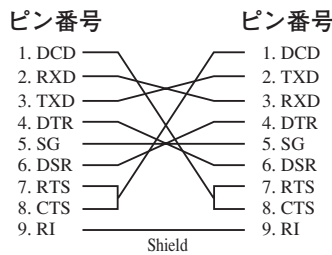
パーソナルコンピュータと本機を接続する場合は、パソコン端子を使用します。パソコン端子（D-sub9ピン）の仕様は次のとおりです。



本機TO PC端子 D-sub9ピン      パソコン側 D-sub9ピン



伝送規格 : RS-232C  
 伝送速度 : 38 400 bps  
 伝送コード : データ長8 bit 1stop bit、even parity



## タンデム接続制御

当社製デジタルミキサー WR-DA7（2005年12月現在生産中止）とタンデム接続する場合は、タンデム接続端子を使用します。WR-DA7以外は接続しないでください。（※53ページ）

タンデム接続端子（D-sub9ピン）の仕様は次のとおりです。

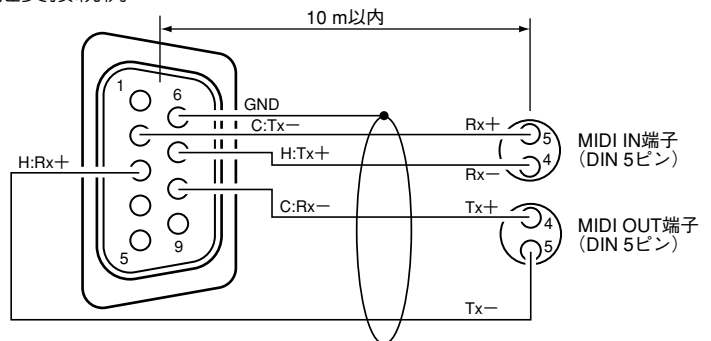


伝送規格 : 5 mA カレントループ

伝送速度 : 31.25 kbps

推奨接続例 :

ピン番号	信号名
1	DG
2	Tx-
3	Rx+
4	DG
5	N.C.
6	DG
7	Tx+
8	Rx-
9	DG



## パターンメモリー制御

パターンメモリーの制御には、パターン制御用端子を使用します。

- 本機のパターンメモリーに連動させた外部機器のパターン呼び出しを行うときは、パターン制御出力端子（D-sub15ピン）を使用します。
- 外部接点により本機のパターンメモリーを呼び出すときは、パターン制御入力端子（D-sub15ピン）を使用します。
- パターンとマトリクスパターンのどちらかに連動します。詳細は初期設定モードをご覧ください。（☞ 66ページ）

それぞれの端子の仕様は次のとおりです。



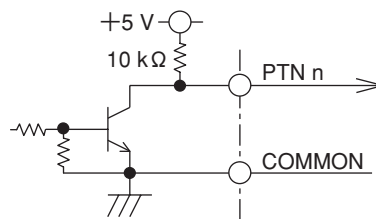
### ● パターン制御出力端子（PATTERN CONTROL OUT）

最大負荷電流：10 mA以内

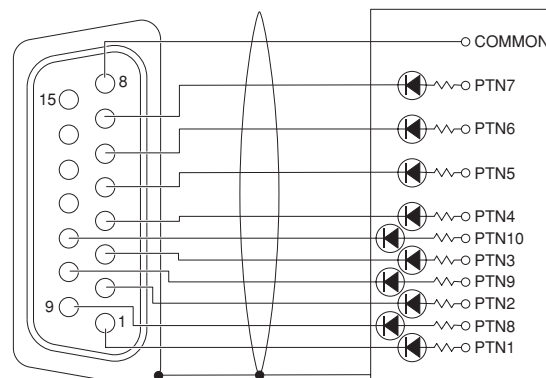
最大負荷電圧：+5 V以内

ピン配置	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	1	PTN1	9	PTN8
	2	PTN2	10	PTN9
	3	PTN3	11	PTN10
	4	PTN4	12	N.C.
	5	PTN5	13	N.C.
	6	PTN6	14	N.C.
	7	PTN7	15	N.C.
	8	COMMON		

内部等価回路：



推奨接続例：



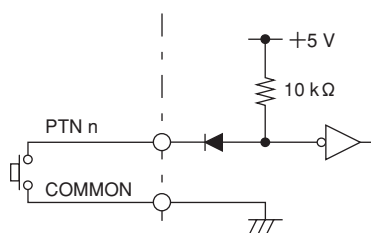
## 外部制御端子について

### ●パターン制御入力端子（PATTERN CONTROL IN）

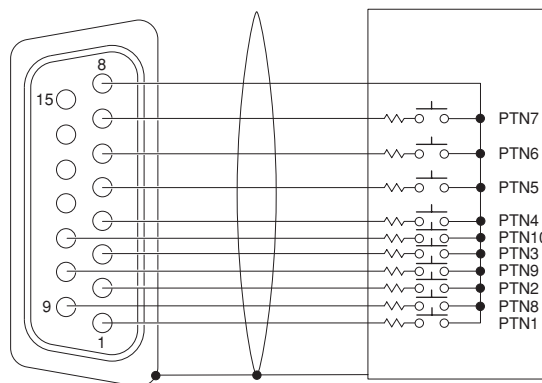
ピン配置 :

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	PTN1	9	PTN8
2	PTN2	10	PTN9
3	PTN3	11	PTN10
4	PTN4	12	N.C.
5	PTN5	13	N.C.
6	PTN6	14	N.C.
7	PTN7	15	N.C.
8	COMMON		

内部等価回路 :



推奨接続例 :



#### メモ

パターン制御入力端子は、8番ピン（COMMON）と目的のパターン番号のピンが接続されたトリガエッジを読み込んでパターンリードを行いますので、外部に接続する機器はアンロックのスイッチを使用してください。

外部機器のスイッチLEDを点灯させるときは、パターン制御出力端子を用いてください。（前ページ）

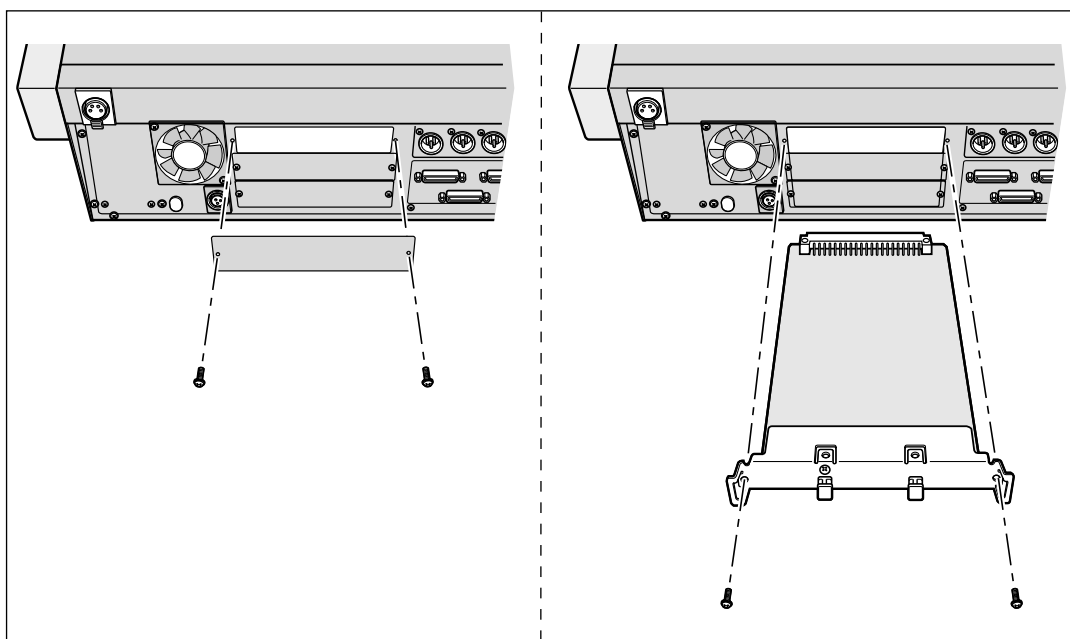
# オプションカード

## オプションカードの取り付けかた

本機のスロット1～5には次のオプションカードを装着することができます。  
工場出荷時には、スロット1に8ch AD/DA入出力カード、スロット2に8ch AES/EBU入出力カードが装着されています。

- 8ch AD/DA入出力カード（品番：WR-ADDAV）
- 8ch AES/EBU入出力カード（品番：WR-AESC）
- タンデム接続カード（品番：WR-TNDM（2005年12月現在生産中止）、スロット5のみに装着可能）

ここでは、スロット3へオプションカードを取り付ける手順を例に説明します。



**1** 本機の電源が“切”になっていることを確認します。

**2** ねじ（2本）を外し、スロット3のブラックパネルを取り外します。

**3** 人体の静電気を除去するため、オプションカードを触る前に、金属部分に手を触れます。

**4** オプションカードをスロットに差し込みます。

- コネクタが確実に接続されていることを確認してください。

**5** 手順2で外したねじ（2本）を使用し、オプションカードを固定します。

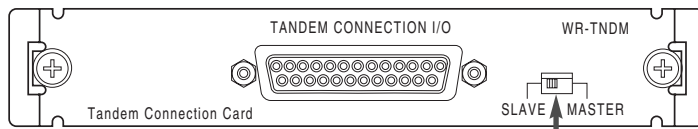
### メモ

- タンデム接続カード（品番：WR-TNDM）を使用する場合は、マスター/スレーブ切替スイッチの設定が必要です。62ページをご覧ください。

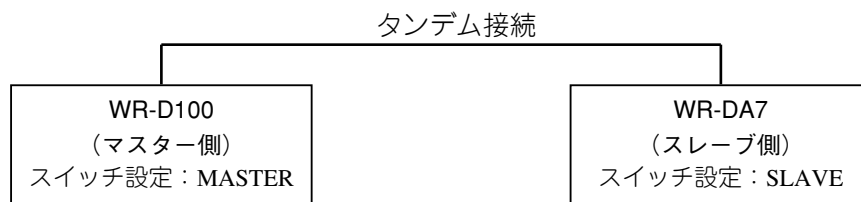
## オプションカード

### タンデム接続カードのスイッチ設定

タンデム接続カード（品番：WR-TNDM）を装着することにより、本機とWR-DA7を2台並列して動作させることができます。その際、本機はマスター、WR-DA7はスレーブとなるようにタンデム接続カードのマスター/スレーブ切替スイッチで設定する必要があります。



マスター/スレーブ切替スイッチ

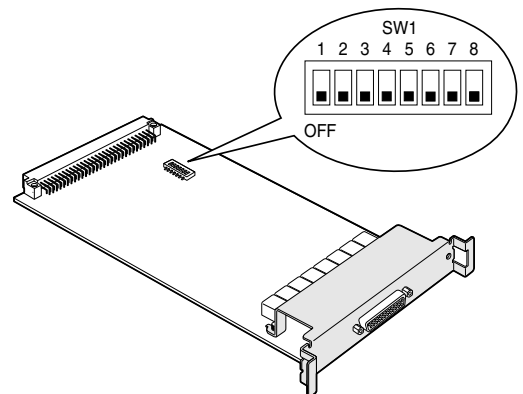


### 8ch AES/EBU入出力カードのディップスイッチ設定

本機のスロット3, 4, 5には、8ch AES/EBU入出力カード（品番：WR-AESC）を増設することができます。

ch1 / 2、ch3 / 4、ch5 / 6、ch7 / 8の各入力にサンプルレートコンバータ（SRC）を挿入することができます。（工場出荷時設定：全スイッチOFF）

スイッチ	OFF	ON
1	ch1 / 2 SRC OFF	ch1 / 2 SRC ON
2	ch3 / 4 SRC OFF	ch3 / 4 SRC ON
3	ch5 / 6 SRC OFF	ch5 / 6 SRC ON
4	ch7 / 8 SRC OFF	ch7 / 8 SRC ON
5	未使用（OFFで使用すること）	
6	未使用（OFFで使用すること）	
7	未使用（OFFで使用すること）	
8	未使用（OFFで使用すること）	

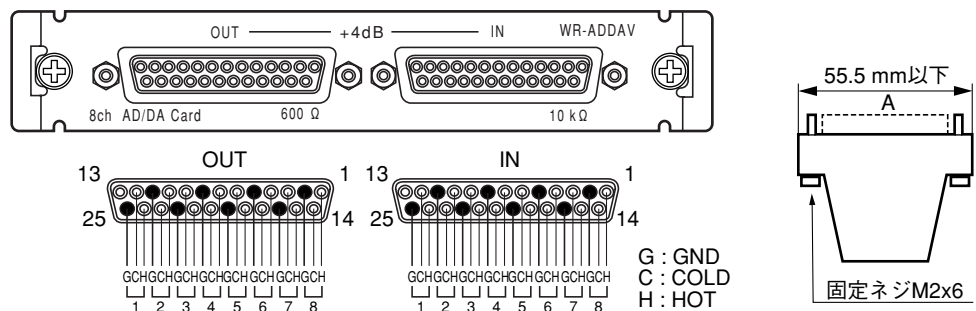


## ピン配置（端子仕様）について

本機のスロット1、スロット2に装着されている8ch AD/DA入出力カード（品番：WR-ADDAV）と8ch AES/EBU入出力カード（品番：WR-AESC）のピン配置（端子仕様）は次のとおりです。ご確認の上、使用するコネクタおよびケーブルをお選びください。

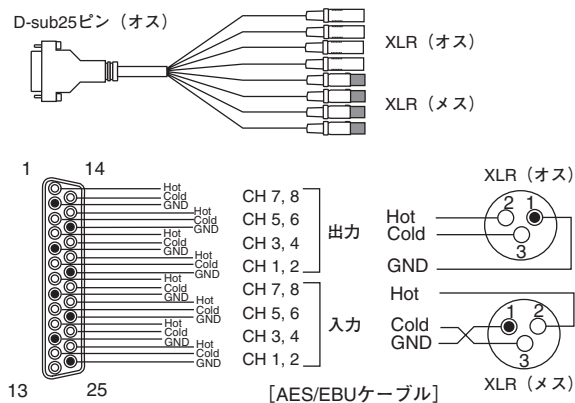
### ●8ch AD/DA入出力カード

D-sub25ピンのシエルには、寸法が55.5 mm以下のものをお使いください。

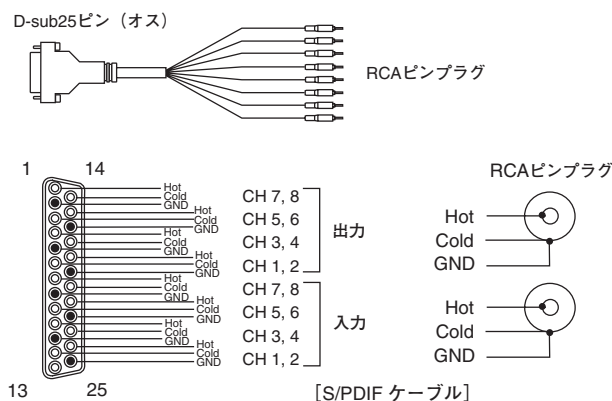


### ●8ch AES/EBU入出力カード

①AES/EBUフォーマットで使用する場合は、下記仕様のケーブルをご使用ください。



②S/PDIFフォーマットで使用する場合は、下記仕様のケーブルをご使用ください。

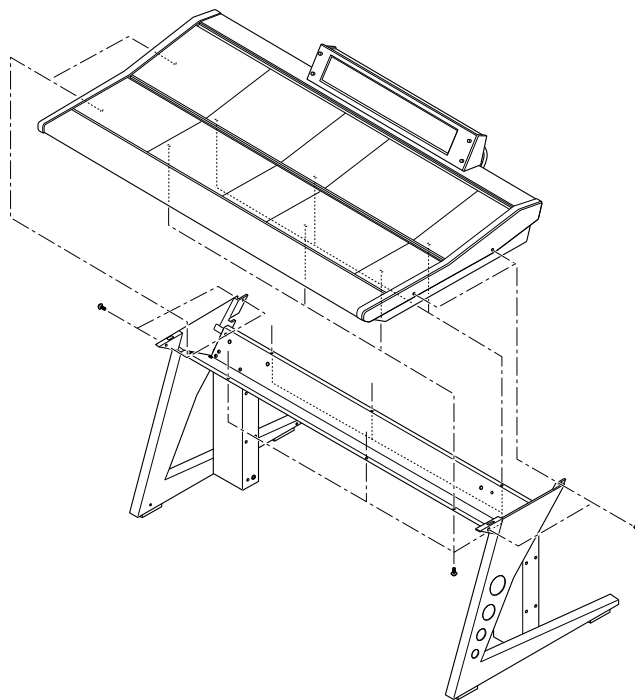


# 別売品について

---

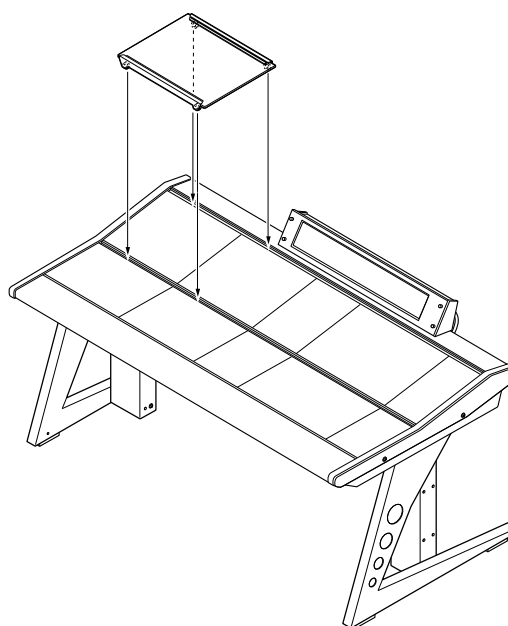
## 卓スタンド (WR-Z100) への取り付けかた

別売の卓スタンドを使用する場合は、下図のように側面4箇所、底面6箇所を卓スタンドに付属されているねじで固定します。詳細は、卓スタンドの取扱説明書をご覧ください。



## 台本置き台 (WR-L100) の取り付けかた

別売の台本置き台を使用する場合は、下図のように、本機のレール部分に台本置き台が乗るように取り付けてください。

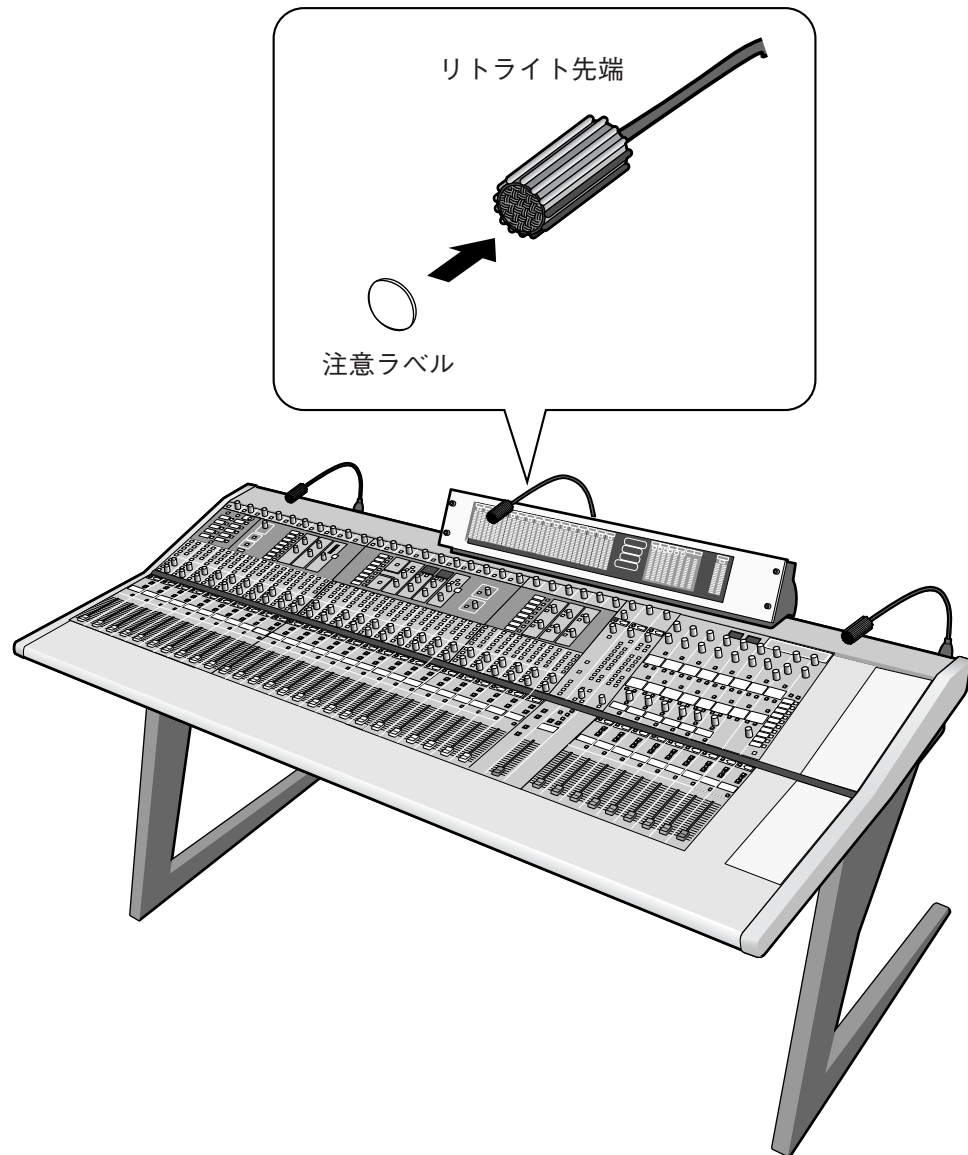




# リトライトへの注意ラベル貼り付け

リトライトご使用の際は、本機に接続する前に、付属の注意ラベルをリトライトの先端に貼り付けてください。

リトライトの先端は高温になります。誤って手を触れたりすると、やけどの原因となりますので、ご注意ください。



# 初期設定モードと工場出荷状態

## 初期設定モードでの起動方法

ファンクション部のF1スイッチを押しながら電源を入れると、初期設定モードで起動します。起動後に各スイッチを押すと“初期設定モード一覧”で説明する内容の設定を行うことができます。

初期設定モード起動した場合は、チャンネルコントロール部とマトリクス部にあるPARAMETER表示部とVALUE表示部に“Init Mode”と表示されます。

通常の運用モードで使用する場合は、どのスイッチも押さずに電源を入れ直してください。

### ●初期設定モード一覧

操作するスイッチ	設定内容（表示内容）	備考
インプット、バスモジュールのアクセススイッチを押しながらPFLスイッチを押す	LEVEL MATCH LED、合致点LEDの役割を変更します。 赤点灯：ノミナル差分表示 緑点灯：パターン差分、実音量差分（工場出荷設定）	全チャンネルで一括切換 注意：ノミナル差分表示に変更すると、パターン差分で記憶していたメモ位置はクリアされます
インプット、バスモジュールのマニュアルスイッチを押す	フェーダーおよびAUX1,2調整ノブ、AUXマスター出力調整ノブをコンソールロックの対象外に切り換えます。 点灯：ロック対象外 消灯：ロック対象（工場出荷設定）	全チャンネルで一括切換
アサインモード選択部のMUTE GRP選択スイッチを押す	マニュアルスイッチをONさせても、ミュートグループマスターの制御を受け付けるように変更します。 点灯：ミュートグループマスター制御受付 消灯：ミュートグループマスター制御不可（工場出荷設定）	
インプットモジュールのGRP 3アサインスイッチを押す	スロット3にインプットインサージョン機能が割り当てられているときに、インサージョンするチャンネルを8チャンネル単位で選択します。 点灯：選択チャンネル 消灯：非選択チャンネル（工場出荷設定）	8チャンネル毎（1-8, 17-20&ST 1-2）に一括切換
インプットモジュールのGRP 4アサインスイッチを押す	スロット4にインプットインサージョン機能が割り当てられているときに、インサージョンするチャンネルを8チャンネル単位で選択します。 点灯：選択チャンネル 消灯：非選択チャンネル（工場出荷設定）	8チャンネル毎（9-18, ST 3-6）に一括切換

(☞ 次ページへつづく)

操作するスイッチ	設定内容 (表示内容)	備考
インプットモジュールのGRP 5 アサインスイッチを押す	スロット5にインプットインサージョン機能が割り当てられているときに、インサージョンするチャンネルを8チャンネル単位で選択します。 点灯：選択チャンネル 消灯：非選択チャンネル (工場出荷設定)	8チャンネル毎 (1-8, 9-16、17-20&ST1-2、ST3-6) に一括切換
チャンネルコントロール部、 COMP/LIMITERのライブラリ 選択スイッチ1~5を押す	スロット3の機能を設定します。 1点灯：機能なし (工場出荷設定) 2点灯：拡張MTX IN 3点灯：拡張OUTPUT 4点灯：拡張MTX IN & 拡張OUTPUT 5点灯：インプットインサージョン	スロット3に何も装着されていなくても設定可能
チャンネルコントロール部、 EQUALIZERのライブラリ選択 スイッチ1~5を押す	スロット4の機能を設定します。 1点灯：機能なし (工場出荷設定) 2点灯：拡張MTX IN 3点灯：拡張OUTPUT 4点灯：拡張MTX IN & 拡張OUTPUT 5点灯：インプットインサージョン	スロット4に何も装着されていなくても設定可能
チャンネルコントロール部、 AUX SENDのライブラリ選択 スイッチ1, 2, 5, 6を押す	スロット5の機能を設定します。 1点灯：機能なし (工場出荷設定) 2点灯：拡張MTX IN 5点灯：インプットインサージョン 6点灯：GRP/LRインサージョン	スロット5に何も装着されていなくても設定可能
チャンネルコントロール部、 AUX SENDのAUX SEND ON/ OFFスイッチ1, 2を押す	AUXマスター1, 2に対するSEND方法の一括変更を行います。 1点灯：レベルーレベル (工場出荷設定) 2点灯：レベルーパン/バランス	全インプット一括
チャンネルコントロール部、 AUX SENDのAUX SEND ON/ OFFスイッチ3, 4を押す	AUXマスター3, 4に対するSEND方法の一括変更を行います。 3点灯：レベルーレベル (工場出荷設定) 4点灯：レベルーパン/バランス	全インプット一括
チャンネルコントロール部、 AUX SENDのAUX SEND ON/ OFFスイッチ5, 6を押す	AUXマスター5, 6に対するSEND方法の一括変更を行います。 5点灯：レベルーレベル (工場出荷設定) 6点灯：レベルーパン/バランス	全インプット一括
マトリクスミキシング部、 GRP1~8, L, RのミキシングON/ OFFスイッチを押す	スロット5にGRP/LRインサージョンが設定されているときのインサージョンするチャンネルをGRP1~8、LRの全10chから8ch選択します。選択したチャンネルは、GRP1からRの若い番号順に先詰めされます。 点灯：選択チャンネル 消灯：非選択チャンネル (工場出荷設定)	

(☞ 次ページへつづく)

## 初期設定モードと工場出荷状態

操作するスイッチ	設定内容 (表示内容)	備考
マトリクスマスター部のマトリクスセレクトスイッチ1~16を押す	スロット3~5のいずれかに拡張MTX INが設定されている場合、スロット入力チャンネルから拡張MTX INのアサイン先となるマトリクスマスター (1~16) を設定します。 点灯：選択マトリクスマスター 消灯：非選択状態 (工場出荷設定)	設定したスイッチングは、初期設定モード時にマトリクスパターン部書き込みます。
マトリクスマスター部のマトリクスマスター出力ON/OFFスイッチ1~16を押す	スロット3~5のいずれかに拡張MTX INが設定されている場合、上記マトリクスセレクトスイッチで選択したマトリクスマスターに対して、拡張MTX IN1~8のスイッチングON/OFFを設定します。 点灯：スイッチングON 消灯：スイッチングOFF (工場出荷設定)	
トータルパターン部のパターン番号1~10スイッチを押す	あらかじめミキサーに設定してある出力バッチを呼び出します。(別表参照)	設定変更時はアンプの電源をOFFにしてください。
トータルパターン部のパターン確定スイッチを押す	リアパネルのパターン制御用端子に対してパターン呼び出しとマトリクスパターン呼び出しのどちらを連動させるかを設定します。 点灯：パターン連動 消灯：マトリクスパターン連動 (工場出荷設定)	
エアマイク部のエアマイク出力ON/OFFスイッチを1秒以上押す	エアマイクのファンタム電源ON/OFFを切り換えます。 点灯：ファンタム電源ON 消灯：ファンタム電源OFF (工場出荷設定)	
アナウンスマイク部のANNマイクスタンバイスイッチを1秒以上押す	アナウンスマイクのファンタム電源ON/OFFを切り換えます。 点灯：ファンタム電源ON 消灯：ファンタム電源OFF (工場出荷設定)	
トークバック/オシレータ部のTB ON/OFFスイッチを1秒以上押す	トークバックマイクのファンタム電源ON/OFFを切り換えます。 点灯：ファンタム電源ON 消灯：ファンタム電源OFF (工場出荷設定)	
ディマー部のパネル面ディマースイッチを押す	ワードクロックの内部/外部同期を切り換えます。 点灯：内部同期 (工場出荷設定) 消灯：外部同期	設定変更時はアンプの電源をOFFにしてください。
モニター部、ソース選択スイッチのAIRとEXTを押す	メーターブリッジ (INPUT以外) のレスポンスを切り換えます。 AIR点灯：VU (工場出荷設定) EXT点灯：PPM	
ファンクション部のF1~F4スイッチを押す	F1~F4スイッチの役割を切り換えます。 F1：基本機能 (工場出荷設定) F2：PFL/AFL切換機能 F3：メーターブリッジ制御機能 F4：GUI機能	

(☞ 次ページへつづく)

〈別表〉 出力パッチとパターン番号（注：設定時はアンプの電源をOFFにしてください。）

パターン番号	XLR OUT 1-8	XLR OUT 9-16	スロット1	スロット2	スロット3	スロット4
1	MTX1-8	MTX9-16	AUX1-6/L/R	GRP1-8	—	—
2	MTX1-8	MTX9-16	GRP1-8	AUX1-6/L/R	—	—
3	GRP1-8	AUX1-6/L/R	MTX1-8	MTX9-16	—	—
4	GRP1-8	AUX1-6/L/R	MTX9-16	MTX1-8	—	—
5	MTX1-8	MTX9-14/PFL	AUX1-6/L/R	GRP1-6/MON	—	—
6	MTX1-8	MTX9-14/PFL	GRP1-8	AUX1-4/L/R/MON	—	—
7	GRP1-8	AUX1-4/L/R/PFL	MTX1-8	MTX9-14/MON	—	—
8	GRP1-8	AUX1-4/L/R/PFL	MTX9-16	MTX1-8	—	—
9	AUX1-6/L/R	GRP1-6/PFL	MTX1-8	MTX9-14/MON	—	—
10	AUX1-6/L/R	GRP1-6/PFL	MTX9-16	MTX1-8	GRP1-8	AUX1-6/L/R

## 工場出荷状態への戻しかた

ファンクション部のF1スイッチとF4スイッチを同時に押しながら電源を入れます。  
工場出荷時の設定に戻り、運用モードで起動します。

工場出荷時の設定は次のとおりです。

### ●工場出荷時設定一覧（◎：パターンに登録されるもの、○：レジュームされるもの、M：マニュアル操作のみ有効）

カテゴリ (名称)	初期値	MONO INPUT	STEREO INPUT	GROUP 1~8	AUX 1~8	MASTER L/R	AIR	ANN	T.B.	MATRIX 1~16	MONITOR
アナログ調整											
トリム	—	+4(M)	0(M)	—	—	—	+4(M)	+4(M)	+4(M)	—	—
ファンタム電源	OFF	○	—	—	—	—	○	○	○	—	—
入力調整											
位相	NORMAL	◎	◎	—	—	—	○	○	○	—	—
ゲイン	0 dB	◎	—	—	—	—	○	○	○	—	—
ディレイON/OFF	OFF	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
ディレイタイム	0 ms	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
インサージョン	OFF	◎*1	◎*1	◎*1	—	◎*1	—	—	—	—	—
イコライザー											
イコライザーON/OFF	OFF	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンドフィルタタイプ	PEQ	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンドPEQタイプ	SHL	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGHバンドPEQタイプ	SHH	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンドQ (PKG)	W(0.7)	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンド周波数 (PKG)	100 Hz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンド周波数 (HPF/SHL)	100 Hz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンドゲイン (PKG/SHL)	0 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOWバンドON/OFF (HPF)	ON	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOW-MIDバンドQ	W(0.7)	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
LOW-MIDバンド周波数	630 kHz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—

\*1：インサージョン設定されている場合

(☞ 次ページへつづく)

## 初期設定モードと工場出荷状態

カテゴリ (名称)	初期値	MONO INPUT	STEREO INPUT	GROUP 1~8	AUX 1~8	MASTER L/R	AIR	ANN	T.B.	MATRIX 1~16	MONITOR
LOW-MIDバンドゲイン	0 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGH-MIDバンドQ	W(0.7)	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGH-MIDバンド周波数	3.15 kHz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGH-MIDバンドゲイン	0 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGHバンドQ (PKG)	W(0.7)	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGHバンド周波数 (PKG)	8.0 kHz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGHバンド周波数 (SHH)	8.0 kHz	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
HIGHバンドゲイン (PKG/SHH)	0 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
ダイナミクス											
ダイナミクスON/OFF	OFF	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
ダイナミクスタイプ	COMP(Limit)+GATE	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
ステレオリンク	OFF	—	◎	—	—	◎	○	—	—	—	—
ポジション	POST EQ	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
THRESHOLD (COMP)	+4 dBu	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
THRESHOLD (GATE)	OFF	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
THRESHOLD (EXPANDER)	-50 dBu	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
RATIO (COMP)	10 : 1	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
RATIO (EXPANDER)	1 : 6	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
ATTACK (COMP/GATE/EXPANDER)	1 ms	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
RELEASE (COMP/GATE/EXPANDER)	400 ms	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
GAIN (COMP)	0 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
RANGE (EXPANDER)	40 dB	◎	◎	◎	—	◎	○	○	○	—	—
チャンネルON/OFF	OFF	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	—
フェーダーレベル	-∞ dB	◎	◎	◎	—	◎	—	—	—	—	(M)
出力レベル											
出力レベル	-∞ dB	—	—	—	◎	—	(M)	(M)	(M)	◎	—
マニュアル優先	OFF	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—
グループピング											
モノミックス	OFF	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
ミュートグループ (4個)	OFF	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
パン											
パンバランスON/OFF	OFF	◎	◎	—	—	—	—	—	○	—	—
パンバランス定位	→	◎C	◎C	◎L・R	—	◎C	—	—	○C	—	—
AUXバス送り											
AUXバス送り方式	LVL-LVL	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
AUXバス送りON/OFF (6個)	OFF	◎	◎	—	—	—	—	—	○	—	—
AUXバス送りポジション (6個)	POST	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
AUXバス送りレベル (6個)	-∞ dB	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
AUXバス送りパンバランス定位	C	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
バスアサイン											
GRPバスアサインON/OFF (8個)	OFF	◎	◎	—	—	—	—	—	○	—	—
LRアサイン	OFF	◎	◎	◎	—	—	—	—	○	—	—
MONO	OFF	—	◎	—	—	—	—	—	—	—	—

(☞ 次ページへつづく)

カテゴリ (名称)	初期値	MONO INPUT	STEREO INPUT	GROUP 1~8	AUX 1~8	MASTER L/R	AIR	ANN	T.B.	MATRIX 1~16	MONITOR
ミキシング入力											
GRPバスアサインON/OFF (8個)	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
GRPバスレベル (8個)	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
AUXバスアサインON/OFF (6個)	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
AUXバスレベル (6個)	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
LバスアサインON/OFF	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
RバスアサインON/OFF	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
Lバスレベル	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
Rバスレベル	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
AIR LアサインON/OFF	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
AIR RアサインON/OFF	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
AIR L/Rレベル	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
ANNアサインON/OFF	OFF	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
ANNレベル	-∞ dB	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—
PFL											
PFL ON/OFF	OFF	○	○	○	○	○	—	○	—	○	—
PFL/AFLポジション切換	→	○PFL	○PFL	○PFL	○PFL	○PFL	—	○PFL	—	○AFL	—

カテゴリ (名称)	初期値
インサージョンチャンネル選択	NONE
入力選択	
入力選択	AD96M+SLOT
合致点機能	仕込み
モニター	
モニターチャンネル選択	NONE
モニター (L) ON/OFF	OFF
モニター (R) ON/OFF	OFF
モニターMONO	OFF
モニターODD/EVEN切換	OFF
モニターミュートスイッチ	OFF
モニターミュートレベル	-20 dB
モニター出力パッチ	NONE
ヘッドホン	
ヘッドホンボリューム	-∞ dB (M)
ヘッドホン出力パッチ	NONE
PFL	
PFL SOLO/MIX切換	SOLO
PFL SAFE	OFF
PFL MONO	OFF
PFL LEVEL	-∞ dB (M)
PFL出力パッチ	NONE
ミュートグループマスター (4個)	◎OFF
チャンネル選択状態	
アクセスキー選択チャンネル	INPUT1
MTXチャンネル選択状態	MTX1
アサインモード選択	GRP・LR
ライブラリライトイネーブル	OFF

カテゴリ (名称)	初期値
パターン	
パターン番号選択状態	1
パターンリードイネーブル	OFF <sup>※2</sup>
パターンライトイネーブル	OFF <sup>※2</sup>
MTXパターン番号選択状態	1
MTXパターンリードイネーブル	OFF <sup>※2</sup>
MTXパターンライトイネーブル	OFF <sup>※2</sup>
MTXパターンリンク	ON
フェーダーマニュアル設定	OFF
AUXバス送り/AUXマスター レベルマニュアル設定	OFF
オシレータ	
オシレータ波形選択	OFF
AUXバス送りON/OFF (6個)	OFF
GRPアサインON/OFF (8個)	OFF
LRアサインON/OFF (2個)	OFF
オシレータレベル	-∞ dB(M)
コンソールロック状態	OFF
ディマー	
リトライトディマー	MIN (M)
パネル面ディマー	8
メーターブリッジ	
INPUT/MTX部選択状態	INPUT
1-16/17-32選択状態	1-16
GRP/AUX部選択状態	GRP1-8
LR/MON選択状態	LR
ピークホールドON/OFF	OFF
ピークホールドタイム	2 s

※2: レジュームしません

# PARAMETER表示部 表示一覧

チャンネルコントロール部とマトリクス部にあるPARAMETER表示部に表示される内容は次のとおりです。

## ●チャンネルコントロール部PARAMETER表示部

パラメータおよび警告内容（各種エラー状態）を次のように表示します。

パラメータ	表示	
INPUT GAIN	I n p G	
EQ / PKG	LOW Frequency	L _ } F
	LOW Gain	L _ } G
	LOW-Mid Frequency	L M } F
	LOW-Mid Gain	L M } G
	HIGH-Mid Frequency	H M } F
	HIGH-Mid Gain	H M } G
	HIGH Frequency	H _ } F
	HIGH Gain	H _ } G
EQ / SH	LOW Frequency	L _ } F
	LOW Gain	L _ } G
	HIGH Frequency	H _ } F
	HIGH Gain	H _ } G
EQ / HPF	LOW Frequency	H P F _
COMP	RATIO	R A T O
	TH LEVEL	T H L _
	ATTACK	A T T K
	RELEASE	R E L S
	GAIN	G A I N
EXPANDER	RATIO	E x R T
	TH LEVEL	E x T H
	ATTACK	E x A T
	RELEASE	E x R L
	RANGE	E x R G
DELAY	D L Y _	
PAN	P A N _	
BALANCE	B A L _	
AUX	AUX1~6 SEND VOL	A X 1 L ~ A X 6 L
	AUX1-2 SEND VOL	A X 1 2 L
	AUX1-2 SEND PAN	A X 1 2 P
	AUX1-2 SEND BAL	A X 1 2 B
	AUX3-4 SEND VOL	A X 3 4 L
	AUX3-4 SEND PAN	A X 3 4 P
	AUX3-4 SEND BAL	A X 3 4 B
	AUX5-6 SEND VOL	A X 5 6 L
	AUX5-6 SEND PAN	A X 5 6 P
	AUX5-6 SEND BAL	A X 5 6 B

警告内容	表示
SRAMバックアップ電池残量少	B A T T L O W
SRAMバックアップ電池残量なし	B A T T E M P
外部クロック同期異常	W C L K E R R
SRAM異常（カレントフェーダー部）	I N I T F D R
SRAM異常（カレント部）	I N I T C U R
SRAM異常（システム部）	I N I T S Y S
SRAM異常（ユーザー設定部）	I N I T U S E R

### メモ

- “\_” は、ブランクを表しています。
- PARAMETER表示部に選択されているチャンネルにないパラメータが表示されている場合、VALUE表示部には“-----”と表示されます。

### メモ

SRAM異常の警告表示がされたときは、マトリクス部のPARAMETER表示部に“PUSHF4F3”が表示されます。

このようなときは、F4スイッチを押しながらかF3スイッチを押してください。異常データが初期化されます。



---

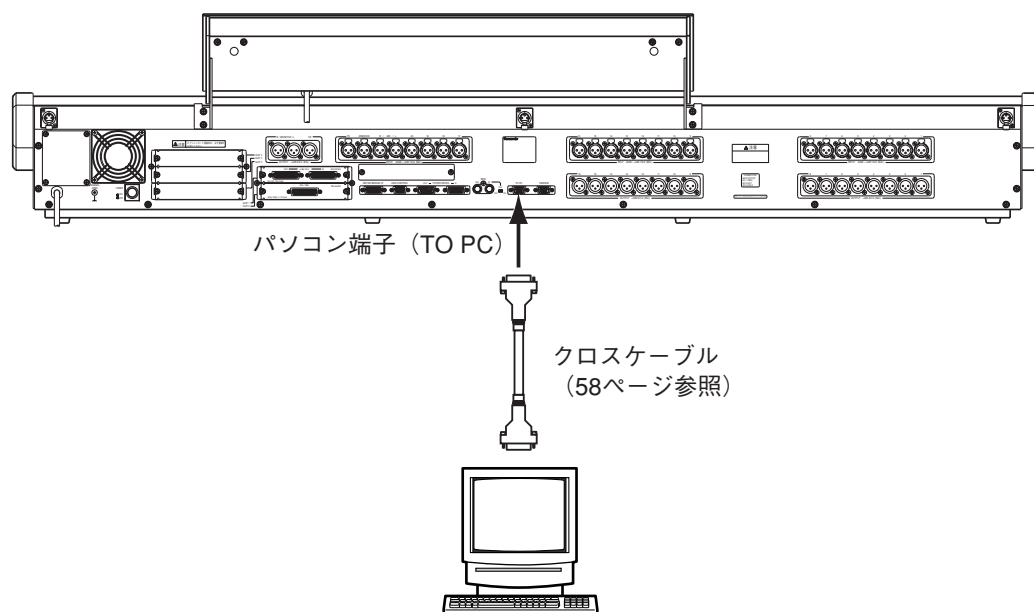
## ●マトリクス部PARAMETER表示部

パラメータ	表示
MATRIXマスター1~32	MX 0 1~MX 3 2
AIRミキシングレベル	A I R__
ANNミキシングレベル	A N N__
MASTER Lミキシングレベル	L _____
MASTER Rミキシングレベル	R _____
AUXマスター1~6ミキシングレベル	A U X 1~A U X 6
GRPバス1~8ミキシングレベル	G R P 1~G R P 8

# リモートコントロールソフトのインストール

付属リモートコントロールソフトを使用すると、パーソナルコンピュータ上でミキサーの設定や操作を行うことができます。

ここでは、リモートコントロールソフトの必要システム構成、インストール方法について説明します。



## 必要システム構成 (動作環境)

- CPU : Pentium III 500 MHz以上
- OS : Windows NT 4.0、Windows 2000
- ディスプレイ : XGA (1 024×768) 以上、65 536色以上 (16ビット)
- RAM : 128 MB以上
- ハードディスク : 空き容量20 MB以上
- ドライブ : CD-ROMドライブ
- シリアルインターフェース : RS-232C (クロスケーブルを使用します)

## 動作条件

リモートコントロールソフトのインストール、およびリモートコントロールソフトの運用は、アドミニストレータ権限を持ったユーザーしか行うことはできません。

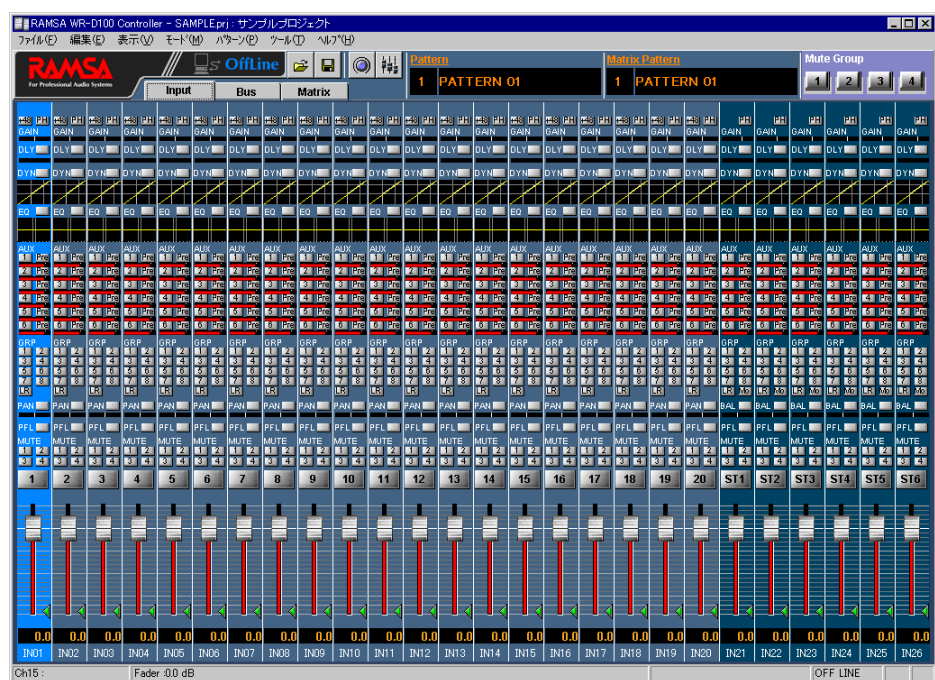
アドミニストレータ権限の設定方法については、使用するOS (Windows NTおよびWindows 2000) のマニュアルを参照してください。

## インストール手順

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに装着します。
2. Windowsのスタートメニューから“ファイル名を指定して実行 (R) ...” をクリックします。
3. ファイル名を指定して、実行ダイアログでインストーラーファイルを指定します。  
E:\¥Setup.exe
  - “E” はCD-ROMドライブのドライブ番号です。お使いのパソコンにより異なりますので、ご確認ください。
4. インストーラーが起動しますので、指示に従いインストールを実行してください。

## リモートコントロールソフトの起動と終了

1. Windowsのスタートメニューから“プログラム (P)” フォルダ→“D100Gui” フォルダ→“D100Gui” アイコンをクリックします。
  - リモートコントロールソフトが起動し、インプット画面（マルチチャンネル表示）が表示されます。



- リモートコントロールソフトの操作方法については、CD-ROM内に収められている操作ガイド（PDFファイル）をご覧ください。
2. 終了するときは、クローズボタンをクリックするか、メニューのファイル (F) から終了 (X) をクリックします。

### メモ

パーソナルコンピュータとミキサーを接続した状態のままリモートコントロールソフトを起動・終了させる場合、データの整合性チェックを行うため、起動・終了するまでに2分程度の時間がかかることがあります。

# 仕様

## ●主な仕様

電源電圧	AC100 V 50 / 60 Hz
消費電力	約150 W (電気用品安全法による)
周波数特性	20~20 000 Hz、+0.5 dB、-1.0 dB (トリム+4 dB位置) 20~20 000 Hz、+0.5 dB、-2.0 dB (トリム-60 dB位置)
入力換算ノイズ	-126 dB以下 (XLRインプット、トリム-60 dB位置、ソースインピーダンス150 Ω、Audio Band)
チャンネル間クロストーク	85 dB以上 (20~20 000 Hz)
ダイナミックレンジ	112 dB以上 (IHF-A WTD)、97 dB以上 (WR-ADDAV使用時、IHF-A WTD)
AD/DA変換	24 bit
サンプリング周波数	48 kHz
構成	
インプット	20モノ+6ステレオ
バス	8グループ+L・R
AUX	6 (6モノ~3ステレオAUXに設定可)
マトリクス入力	19 (バス、AUX、アナウンスマイク、エアマイク)
マトリクス出力	16
モニター	1 (ステレオ) バス、AUX、エアマイク、モニターEXT INの選択+PFL割り込み
ヘッドホン出力	1 (200 mW max / 40 Ω, 50 mW max / 8 Ω、複式ジャック)
ユーティリティ入力	TBマイク×1、アナウンスマイク×1、エアマイク×1
イコライザー	
HIGH (PKG)	Q=0.1~10、F=500~20 000 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
HIGH (SHH)	F=1 000~20 000 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
HIGH-MID (PKG)	Q=0.1~10、F=500~20 000 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
LOW-MID (PKG)	Q=0.1~10、F=20~20 000 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
LOW (PKG)	Q=0.1~10、F=20~20 000 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
LOW (SHL)	F=20~1 600 Hz (1/12octステップ)、G=±15 dB (0.5 dBステップ)
LOW (HPF:-12 dB/oct)	F=20~1 600 Hz (1/12octステップ)
ダイナミクス	
コンプレッサ	THRESHOLD : -16 dBu~+24 dBu (1 dBステップ) RATIO : 1~∞ (n:1) ATTACK TIME : 0 ms~200 ms (1 msステップ) RELEASE TIME : 5 ms~2 000 ms (5 msステップ) GAIN : 0 dB~+12 dB (0.5 dBステップ)
ゲート	THRESHOLD : OFF、-56 dBu~-16 dBu (1 dBステップ) ATTACK TIME : 0 ms~200 ms (1 msステップ) RELEASE TIME : 5 ms~2 000 ms (5 msステップ)
エキスパンダ	THRESHOLD : -56 dBu~-16 dBu (1 dBステップ) RATIO : 1~6 (n:1) ATTACK TIME : 0 ms~200 ms (1 msステップ) RELEASE TIME : 5 ms~2 000 ms (5 msステップ) RANGE : 0 dB~+40 dB (0.5 dBステップ)
ディレイ	0 ms~300 ms (0.1 msステップ)
フェーズ	NORMAL/INVERSE
フェーダー	100 mmモーターフェーダー×35、100 mmノンモーターフェーダー×1 (MONITOR)

ユーザーメモリー数	ミュートグループ : 4ミュートグループ パターンメモリー : 10パターン+10マトリクスパターン (リンク可能) ライブラリメモリー : イコライザー、ダイナミクス、AUXセンドに各8ライブラリ装備
使用温度範囲	0°C~40°C
外形寸法	幅1 560 mm×高さ319 mm×奥行き879 mm
質量	約80 kg
仕上げ	筐体 : 塗装色 黒 (マンセルN1半艶仕上げ) チタンメタリック (マンセルN6近似色) パネル面: 印刷色 チタンメタリック (マンセルN6近似色) シャドーグレー (マンセル5PB4/1近似色)、白 (マンセルN8近似色)

### ●アナログ入力 (本体)

入力数	24CH
コネクタ	XLR3ピンメスコネクタ
定格入力レベル	XLR入力=-72 dB~+16 dB (-60 dB~+4 dBアナログトリムと±12 dBデジタルゲイン併用)
最大入力レベル	+24 dB
同相除去比 (CMRR)	75 dB以上 (1 kHz、トリム-60 dB位置)

### ●アナログ入力 (WR-ADDAV)

入力数	8CH
コネクタ	D-sub25ピンメス
定格入力レベル	+4 dB±0.5 dB
最大入力レベル	+24 dB
同相除去比 (CMRR)	45 dB以上 (1 kHz)

### ●アナログ出力 (本体)

出力数	19CH
コネクタ	XLR3ピンオスコネクタ
定格出力レベル	+4 dB±0.5 dB、600 Ω負荷時
最大出力レベル	+24 dB

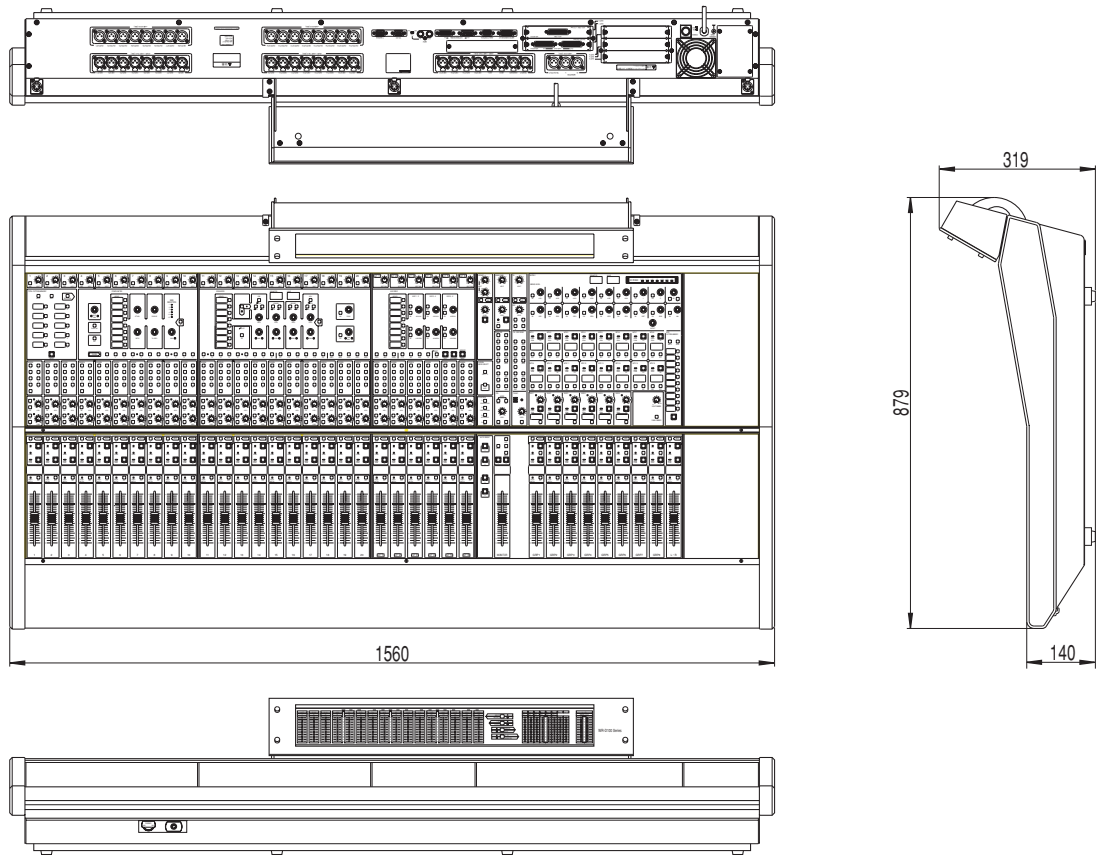
### ●アナログ出力 (WR-ADDAV)

出力数	8CH
コネクタ	D-sub25ピンメスコネクタ
定格出力レベル	+4 dB±0.5 dB、600 Ω負荷時
最大出力レベル	+24 dB

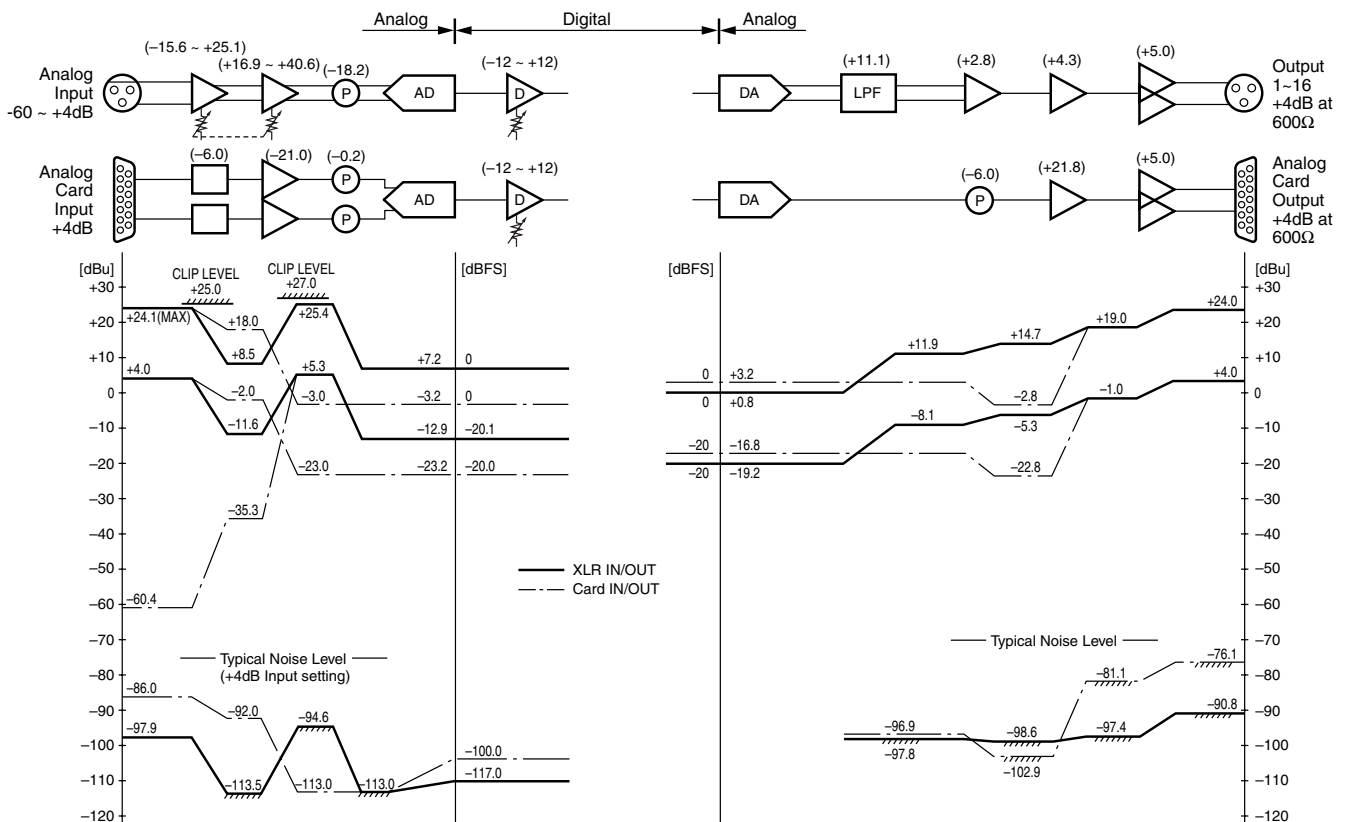
### ●デジタル入出力/制御端子

WR-AESC	8入力8出力、AES/EBU (D-sub25ピンメスコネクタ)
ANN CONTROL	D-sub9ピンメスコネクタ
PATTERN CONTROL IN	D-sub15ピンメスコネクタ
PATTERN CONTROL OUT	D-sub15ピンメスコネクタ
WORD CLOCK IN	BNC端子 75 Ω (ON/OFF)
WORD CLOCK OUT	BNC端子 75 Ω
TO PC	D-sub9ピンオスコネクタ
TANDEM	D-sub9ピンメスコネクタ

# 外觀寸法図



# レベルダイアグラム





# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このオーディオミキサーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

まず電源を切ってからお買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ご連絡いただきたい内容

品名	オーディオミキサー
品番	WR-D100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WR-D100
	販売店名	電話 ( ) -		

## パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410